

北海道議会時報

令和6年第4回定例会

決算特別委員会（令和5年度）

北海道議会事務局

も く じ

議会日誌	1
令和 6 年度補正予算の概要	2
定 例 会	
概 要	4
本 会 議	6
提 出 案 件	12
会 議 案	15
決 議 案	19
決 意 案	20
請 願	24
委 員 会	
議 会 運 営 委 員 会	25
常 任 委 員 会	28
総 務 委 員 会	
総 合 政 策 委 員 会	
環 境 生 活 委 員 会	
保 健 福 祉 委 員 会	
経 済 委 員 会	
農 政 委 員 会	
水 産 林 務 委 員 会	
建 設 委 員 会	
文 教 委 員 会	
特 別 委 員 会	36
産 炭 地 域 振 興 ・ エ ネ ル ギ ー 調 査 特 別 委 員 会	
北 方 領 土 対 策 特 別 委 員 会	
新 幹 線 ・ 総 合 交 通 体 系 対 策 特 別 委 員 会	
人 口 減 少 問 題 ・ 地 方 分 権 改 革 等 調 査 特 別 委 員 会	
子 ども 政 策 調 査 特 別 委 員 会	
食 と 観 光 調 査 特 別 委 員 会	
北 海 道 地 方 路 線 問 題 調 査 特 別 委 員 会	
予 算 特 別 委 員 会	42
決 算 特 別 委 員 会	48
資 料	
令 和 6 年 提 出 案 件 の 議 決 状 況	56
令 和 6 年 請 願 の 審 査 状 況	56
令 和 6 年 議 員 又 は 委 員 会 提 出 案 件 一 覧	57
令 和 6 年 請 願 一 覧	59
北 海 道 議 会 議 席 表	61
11 月 ・ 12 月 の 出 来 事	62

本会議及び委員会の詳細については、
会議録をご覧ください。



本書においては、便宜上、会派の名称を
次のとおり表記した。

自 民 党 ・ 道 民 会 議	-----	自 民
民 主 ・ 道 民 連 合	-----	民 主
北 海 道 結 志 会	-----	結 志
公 明 党	-----	公 明
日 本 共 産 党	-----	共 産
維 新 ・ 大 地	-----	維 新

議 会 日 誌

▶11月

- 6日(水) 各常任委員会
7日(木) 各特別委員会
8日(金) 決算特別委員会
(企業会計審査)
11日(月) 決算特別委員会第1・第2分科会
(各部所管審査)
12日(火) 決算特別委員会第1・第2分科会
(各部所管審査)
13日(水) 決算特別委員会第1・第2分科会
(各部所管審査)
14日(木) 決算特別委員会
(各分科委員長報告、総括質疑等)
19日(火) 議会運営委員会
25日(月) 議会運営委員会
各常任委員会
各特別委員会
26日(火) 議会運営委員会
【第4回定例会開会】
本会議
(会期決定、提案説明等)
総務委員会
29日(金) 議会運営委員会
本会議
(一般質問等)

▶12月

- 2日(月) 議会運営委員会
本会議
(一般質問)
3日(火) 議会運営委員会
本会議
(一般質問、追加提案説明、
予算特別委員会設置等)
予算特別委員会
(2分科会設置)
予算特別委員会第1・第2分科会
5日(木) 予算特別委員会第1・第2分科会
(各部所管審査)
6日(金) 予算特別委員会第1・第2分科会
(各部所管審査)
9日(月) 予算特別委員会第1・第2分科会
(各部所管審査)
10日(火) 予算特別委員会
(各分科委員長報告、総括質疑等)
11日(水) 各常任委員会
各特別委員会
12日(木) 議会運営委員会
本会議
(各委員長報告、議案可決等)
【第4回定例会閉会】

令和 6 年度補正予算の概要

次のとおり補正予算について審議し、可決

○令和 6 年度一般会計補正予算（第 5 号）

（単位 千円）

歳 入	歳 出
分担金及び負担金 1 4 2, 2 6 3	総 合 政 策 費 1 0 2, 7 0 0
国 庫 支 出 金 2 0 5, 4 7 7	保 健 福 祉 費 1 4 2, 2 6 3
財 産 収 入 3, 1 8 4	農 政 費 2, 4 8 5
繰 入 金 1 6, 4 5 0	水 産 林 務 費 2 0 0, 2 0 5
繰 越 金 1, 8 0 5, 1 4 9	建 設 費 1, 7 9 8, 0 0 0
諸 収 入 5, 3 5 7	警 察 費 1 3 9, 0 0 0
道 債 2, 1 6 7, 0 0 0	災 害 復 旧 費 7 7 9, 6 6 2
	諸 支 出 金 1, 1 8 0, 5 6 5
計 4, 3 4 4, 8 8 0	計 4, 3 4 4, 8 8 0

○令和 6 年度特別会計補正予算

（単位 千円）

会 計 名	金 額
中小企業高度化資金貸付事業等特別会計	6 6, 0 4 5
計	6 6, 0 4 5

令和 6 年第 4 回定例会で可決した一般会計補正予算は、総額約43億4,400万円。

歳出予算の主なものは、本年発生した大雨災害などにより被災した施設の早期復旧を図るため、土木施設、耕地などの災害復旧事業費 7 億8,700万円、公共事業の端境期における効率的な執行を確保するため、道の単独事業について前倒しで実施することとし、道路、河川などの特別対策事業費17億5,100万円、公共関連単独事業費 3 億8,100万円、所要の債務負担行為を含め、総額60億円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金 2 億500万円、道債21億6,700万円、繰越金18億500万円。

○令和6年度一般会計補正予算（第6号）

（単位 千円）

歳 入		歳 出	
国庫支出金	1,928,631	議会費	13,629
繰入金	9,079,218	総務費	1,282,510
繰越金	3,582,116	総合政策費	94,782
		環境生活費	50,081
		保健福祉費	619,240
		経済費	91,461
		農政費	181,927
		水産林務費	176,189
		建設費	394,077
		警察費	3,460,535
		教育費	8,225,534
計	14,589,965	計	14,589,965

令和6年第4回定例会で追加提案され可決した一般会計補正予算は、道職員等の給与改定に伴う経費について、所要の予算措置を講じようとするものであり、総額約145億8,900万円。

これらに見合う歳入予算は、国庫支出金19億2,800万円、繰入金90億7,900万円、繰越金35億8,200万円。

定 例 会

▶ 総額190億円余の令和 6 年度補正予算を可決 ◀

概 要

- ① 令和 6 年度補正予算案等を審議する**第 4 回定例会**は、**11月26日に招集**され、議席の一部変更並びに補欠当選議員の議席指定、会議録署名議員の指定、諸般の報告、三笠宮崇仁親王妃百合子殿下薨去に伴う弔詞奉呈報告を行い、**会期を12月12日までの17日間**と決定。

次に、**総額44億1,000万円余の令和 6 年度補正予算案を含む議案31件及び報告 1 件**が提出され、知事から提出議案に関する説明。

次に、**議案第 6 号**について先議することに決定した後、**質疑**に入り、**総務委員会**に付託。

次に、前会より継続審査の**令和 5 年度各会計歳入歳出決算及び各事業会計決算**について、決算特別委員長から報告の後、討論、採決の結果、いずれも**認定議決**。

次に、**会議案第 1 号「北海道カスタマーハラスメント防止条例案」**が提案され、説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、異議なく**原案可決**。

その後、議案等調査のため、11月27日から11月28日までの本会議を休会することに決定して散会。

- ② 休会明けの11月29日、**議案第 6 号「北海道知事等の給与等に関する条例の一部を改正する条例案」**に対する総務委員長の報告の後、採決の結果、異議なく**原案可決**。その後、**一般質問**に入り、12月 3 日に一般質問の後、**総額145億8,900万円余の令和 6 年度補正予算案を含む議案 5 件**が提出され、知事から提出議案に関する説明の後、質疑並びに質問を終結。直ちに**予算特別委員会を設置し、議案第 4 号及び第15号を産炭地域振興・エネルギー調査特別委員会に、議案第13号及び第14号を子ども政策調査特別委員会にそれぞれ付託**することに決定し、残余の議案を各委員会に付託。

次に、各委員会付託議案等審査のため、12月 4 日から12月 6 日まで及び12月 9 日から12月11日までの本会議を休会することに決定して散会。

- ③ **予算特別委員会**は、12月 3 日に正・副委員長の互選を行い、2 分科会を設置。

12月 5 日から各分科会において各部所管の審査に入り、12月 9 日に終了。12月10日に各分科委員長報告の後、総括質疑を行い、付託議案に対する質疑を終結。採決の結果、いずれも異議なく**原案可決**。

- ④ 会期最終日の12月12日は、各付託議案に対する各委員会の委員長報告の後、質疑、討論を行い、採決の結果、委員長報告のとおり**議案第 3 号「北海道宿泊税条例案」は修正議決**、その他の議案は**原案可決**、報告は**承認議決**。

次に、**J R北海道の事業範囲の見直し等に関する地方路線問題の調査に関する件**について、北海道地方路線問題調査特別委員長の報告の後、討論を行い、採決の結果、本件調査は、委員長報告をもって終了することに**決定**。

次に、**選挙管理委員及び同補充員の選挙**を行い、指名推選の方法をもって、議長指名により選出。

次に、**会議案第 2 号「北海道議会会議規則の一部を改正する規則案」等 2 件**が提案され、説明及び会議案第 3 号の委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも異議なく**原案可決**。

次に、**決議案第 1 号「特別委員会の調査事項に関する決議」**が提案され、説明及び委員会付託を省略し、採決の結果、**原案可決**。

次に、**意見案第 1 号「台湾の国連気候変動枠組条約（UNFCCC）への参加を積極的に支援するよう求める意見書」等 4 件**が提案され、説明及び意見案第 1 号及び第 2 号の委員会付託を省略し、討論、採決の結果、いずれも**原案可決**。

最後に、閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について異議なく決定の後、**閉会**。

⑤ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提 出 者	件 数	議 決 状 況					報告のみ
		原案可決	修正議決	承認議決	認定議決	否 決	
知 事	43(6)	35	1	1	(6)		6
議員・委員会	8	8					
計	51(6)	43	1	1	(6)		6

注：（ ）内は、継続審査に係る議決件数を示した外数である。

本 会 議

■11月26日（火）

午前10時5分開会、富原亮議長、令和6年第4回定例会の開会を宣し、議長から、10月27日執行の釧路市選挙区補欠選挙において当選した伊東尚悟議員（自民）並びに岡田遼議員（民主）を紹介した後、

日程第1 議席の一部変更並びに補欠当選議員の議席指定の件を議題とし、配付の議席表のとおりとすることに決定。

日程第2 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、議長から、三笠宮崇仁親王妃百合子殿下薨去（11月15日）に伴う弔詞を奉呈した旨報告。

日程第3 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から12月12日までの17日間と決定。

日程第4 議案第1号ないし第31号及び報告第1号を議題とし、知事から提出議案に関する説明。

日程第4のうち、議案第6号を先議することについて異議なく決定。

議案第6号に関する質疑に入り、



真下 紀子 議員（共産）から、

1 知事の責任と多額の財政負担が生じたことによる影響について

2 国庫返還に至った不適正事務と処分等について

3 過去の不適正事務からの教訓について

4 再発防止策効果の点検・評価等について

等について質問があり、知事から答弁。質疑を終結。

議案第6号を総務委員会に付託。

日程第5 前会より継続審査の報告第1号ないし第6号を議題とし、決算特別委員長から委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、丸山はるみ議員（共産）から、報告第1号、第2号、第4号及び第5号に関する反対討論があって、討論終結。

採決に入り、報告第1号、第2号、第4号及び第5号を問題とし、委員長報告（いずれも認定議決）のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により認定議決。

次に、報告第3号及び第6号を問題とし、委員長報告（いずれも認定議決）のとおり決することについて、異議なく認定議決。

日程第6 会議案第1号を議題とし、清水拓也議員（自民）から会議案第1号に関する説明の後、委員会付託を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

議案等調査のため、11月27日から11月28日までの本会議を休会することに決定し、午前10時50分散会。

■11月29日（金）

午前10時19分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第6号を議題とし、総務委員長から、付託議案審査の経過と結果について報告。

採決に入り、委員長報告（可決）のとおり決することについて、異議なく原案可決。

日程第2 議案第1号ないし第5号、第7号ないし第31号及び報告第1号を議題とし、一般質問に入り、



宮下 准一 議員（自民）から、

1 道政上の諸課題について

・カスタマーハラスメント防止対策について

・地方創生について

・経済対策について

・観光振興について

・GXの推進について

・道の人材育成・確保基本方針について

・交通政策について

・縄文世界遺産について

・ヒグマ対策について

・上下水道施設の緊急点検について

・子ども施策について

・旧優生保護法に係る被害者補償について

・食の輸出拡大戦略について

・文献調査報告書について

・道営住宅の家賃の見直しについて

・酪農畜産の振興について

・アキサケの資源対策について

・ナラ枯れについて

2 教育問題について

・いじめの重大事態について

・不登校児童生徒への対応について

3 公安問題について

・闇バイトを契機とする犯罪の未然防止について

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長他から答

弁。同議員から発言。議事進行の都合により午後 0 時 1 分休憩。
午後 1 時 11 分再開し、



淵上 綾子 議員（民主）から、

- 1 知事の政治姿勢について
 - ・地方創生10年間の検証を踏まえた今後の対応について
 - ・人口減少対策について
 - ・北海道創生総合戦略並びに地域振興条例について

- 2 G X 特区における税制優遇について
- 3 防災・減災、国土強靱化への対応について
- 4 知事公館・近代美術館エリアについて
- 5 医療・福祉課題について
- 6 経済と雇用対策について
- 7 エネルギー政策について
- 8 宿泊税について
- 9 交通・物流政策について
- 10 環境政策について
- 11 建設政策について
- 12 第 1 次産業の振興について
 - ・農業政策について
 - ・水産政策について
- 13 人権施策の推進について
- 14 北方領土返還要求運動等について
- 15 教育課題について
 - ・いじめ対応について
 - ・不登校対応について
 - ・子どもの自殺対策について
- 16 警察署の再編整備計画について

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長他から答弁。同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があつて、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後 3 時 36 分休憩。午後 4 時再開し、



伊東 尚悟 議員（自民）から、

- 1 新規道立広域公園の整備について
- 2 林業・木材産業の人材育成について
- 3 広域防災について

- 4 アイヌ文化振興について
- 5 民泊の推進について
- 6 苫小牧東部地域の開発促進について
- 7 企業局の経営戦略について

等について質問があり、知事及び公営企業管理者他から答弁。



岡田 遼 議員（民主）から、

- 1 防災対策について
 - ・広域物資拠点の考え方について
 - ・備蓄への支援について
- 2 広域的地域活性化基盤整備計画の策定について

画の策定について

- 3 ラピダスの経済波及について
- 4 水産養殖業の振興について
- 5 林業対策について
 - ・製材工場建設計画について
 - ・担い手の確保・育成について
 - ・造林作業の機械化促進について
 - ・資源量把握の高精度化について
- 6 酪農畜産の飼料価格等高騰対策について
- 7 里親支援センターについて
- 8 市街地におけるエゾシカ対策の拡充について

等について質問があり、知事他から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後 5 時 33 分散会。

■12月2日（月）

午後 1 時 2 分開議、諸般の報告の後、

日程第 1 議案第 1 号ないし第 5 号、第 7 号ないし第 31 号及び報告第 1 号を議題とし、一般質問を継続し、



水間 健太 議員（自民）から、

- 1 自治体情報システムの標準化
 - ・共通化について
- 2 デジタルテレビ中継局の放送設備の更新について
- 3 地域における人材育成機会の

確保について

- 4 U I J ターンの取組について
- 5 民泊の実態と対策について
- 6 ワイン産業の振興について
- 7 農業振興について
- 8 社会教育の充実について

等について質問があり、知事及び教育長他から答弁。



水口 典一 議員（結志）から、

- 1 道政の諸課題について
 - ・能登半島地震を踏まえた各種計画等の見直しについて
 - ・J R 北海道について
 - ・日本語教育について

- ・ヒグマ対策について
 - ・「こどもまんなか社会」の実現について
 - ・国の経済対策への対応について
 - ・食の輸出拡大戦略について
 - ・観光施策について
 - ・宿泊税について
 - ・第6期北海道農業・農村振興推進計画の達成状況について
 - ・道立公園の民間活力導入について
- 2 教育問題について
- ・道立高校への道外からの出願について
 - ・生徒指導などについて
- 3 公安問題について
- ・若年者の犯罪防止対策について

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長他から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後2時38分休憩。午後3時1分再開し、



早坂 貴敏 議員（自民） から、

- 1 クリーン農業推進計画の策定について
- 2 中小・小規模事業者に対する支援の在り方について
- 3 道路の除排雪について
- 4 地域医療情報連携ネットワークについて
- 5 スポーツ施設の整備について
- 6 道立青少年教育施設の今後の在り方について
- 7 主権者教育の推進について

等について質問があり、知事及び教育長他から答弁。



田中 英樹 議員（公明） から、

- 1 北海道の未来に向けた戦略について
 - ・北海道の未来に向けた戦略の展開について
 - ・戦略の実現に向けた地域施策の強化について
- 2 経済対策について
 - ・経済対策について
 - ・GX金融・資産運用特区について
 - ・半導体関連産業の振興について
- 3 観光新税の今後の見通しについて
- 4 交通問題について
 - ・地域交通について
 - ・航空ネットワークの充実について
- 5 保健福祉問題について
 - ・地域医療について

- ・介護人材の確保について
- 6 農業問題について
 - ・道産農産物の輸出拡大について
 - ・米の安定生産について
 - 7 道立広域公園について
 - 8 鉄道高架事業について
 - 9 ヒグマ対策について
 - 10 大阪・関西万博について
 - 11 バックカントリーについて
 - 12 教育問題について
 - ・地域の未来を担う人材の育成について
 - ・いじめ問題について

等について質問があり、知事及び教育長他から答弁。議事進行の都合により午後4時31分散会。

■12月3日（火）

午前10時5分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第5号、第7号ないし第31号及び報告第1号を議題とし、一般質問を継続し、



木下 雅之 議員（自民） から、

- 1 消防団について
- 2 RSウイルス感染症について
- 3 新生児聴覚検査について
- 4 子育て支援施策について
- 5 安全な道路交通環境について
- 6 地域に関する学習について
- 7 交番、駐在所の更新、整備について

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長他から答弁。



山根 まさひろ議員（民主） から、

- 1 照明の2027年問題について
- 2 災害対策について
- 3 福祉政策について
 - ・重度心身障がい者医療費助成について
 - ・障害福祉サービス就労選択支援について
 - ・障がい者の就労支援について
 - ・保育所における医療的ケア児の受入れ体制について
- 4 北海道カスタマーハラスメント防止条例について
- 5 スポーツの振興について
- 6 教育課題について
 - ・北海道高等学校遠隔授業配信センター（T-

b a s e) について

・私立高校生への修学支援について

等について質問があり、知事及び教育長他から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。



鶴羽 芳代子 議員（自民） から、

- 1 性犯罪・性暴力被害者への支援について
- 2 福祉施策について
- ・母乳育児を行う女性への配慮について

・孤独・孤立対策について

- 3 道庁南エリアについて
- 4 学校給食の牛乳について
- 5 教員の働き方改革について
- 6 教職の魅力啓発の取組について

等について質問があり、知事及び教育長他から答弁。議事進行の都合により午後0時14分休憩。午後1時16分再開し、



石川 さわ子 議員（結志） から、

- 1 地方創生について
- 2 広域連携について
- 3 子どもの権利に関する取組について
- 4 若者への支援について
- 5 困難を抱える女性への支援について
- 6 精神障がい当事者と家族への支援について
- 7 道立女性プラザについて
- 8 人権を守るための取組について
- 9 食の安心安全について

等について質問があり、知事他から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から発言。



林 祐作 議員（自民） から、

- 1 菓子博について
- 2 道産食品の販路拡大について
- 3 ふるさと納税について
- 4 地域保健医療対策について
- 5 青少年育成について
- 6 特殊詐欺について
- 7 日本柔整災害協議会との連携について

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長他から答弁。議事進行の都合により午後2時55分休憩。午後3時20分再開し、



滝口 直人 議員（自民） から、

- 1 水田農業における生産の目安について
- 2 水産業の振興について
- 3 災害廃棄物対策について
- 4 北海道トレイル構想の可能性

について

- 5 河川整備事業について

等について質問があり、知事他から答弁。



真下 紀子 議員（共産） から、

- 1 指定管理者の指定について
- 2 マイナ保険証等について
- 3 特定放射性廃棄物最終処分（核のごみ）等について

等について質問があり、知事他から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。



山崎 真由美 議員（維新） から、

- 1 道民の健康づくりの推進について
- ・健康に配慮した食環境の整備について
- ・道庁本庁舎地下食堂の活用について

について

- 2 道産日本酒の消費拡大について
- 3 道職員の政策開発力の向上について

等について質問があり、知事他から答弁。

日程第1の議事を中止。

追加日程 議案第32号ないし第36号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明。

日程第1に併せ、追加日程、議案第32号ないし第36号を一括議題として議事を継続。質疑並びに質問を終結。

議長から、予算に関する案件について、本会議に27人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、関係案件を付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（27人）

清水 敬弘（民主）	板谷よしひさ（自民）
伊東 尚悟（自民）	今津 寛史（自民）
戸田 安彦（自民）	藤井 辰吉（自民）
前田 一男（自民）	鈴木 仁志（民主）
海野 真樹（公明）	丸山はるみ（共産）

川澄宗之介（民主）	小泉 真志（民主）
滝口 直人（自民）	村田 光成（自民）
内田 尊之（自民）	太田 憲之（自民）
久保秋雄太（自民）	道見 泰憲（自民）
中川 浩利（民主）	畠山みのり（民主）
白川 祥二（結志）	荒当 聖吾（公明）
赤根 広介（結志）	梶谷 大志（民主）
三好 雅（自民）	村田 憲俊（自民）
喜多 龍一（自民）	

議案第4号及び第15号を産炭地域振興・エネルギー調査特別委員会に、議案第13号及び第14号を子ども政策調査特別委員会にそれぞれ付託することについて異議なく決定し、残余の議案については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の委員会に付託。

各委員会付託議案等審査のため12月4日から12月6日まで及び12月9日から12月11日までの本会議を休会することに決定し、午後4時46分散会。

■12月12日（木）

午後1時24分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第5号、第7号ないし第36号及び報告第1号を議題とし、予算特別委員長、総務委員長、産炭地域振興・エネルギー調査特別委員長、総合政策委員長、環境生活委員長、保健福祉副委員長、子ども政策調査特別副委員長、農政副委員長及び建設委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

質疑に入り、真下紀子議員（共産）から、総務委員長報告（議案第3号）に関する質疑があり、総務委員長から答弁。質疑を終結。

討論に入り、池端英昭議員（民主）から、議案第3号についての委員会審査結果（修正議決）に関する反対討論。

次に、丸山はるみ議員（共産）から、議案第3号についての委員会審査結果（修正議決）及び第4号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第3号を問題とし、委員長報告（修正議決）のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により、原案可決。

次に、議案第4号を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により、原案可決。

次に、議案第1号、第2号、第5号、第7号ないし第36号及び報告第1号を問題とし、委員長報告（議案は全て可決、報告は承認議決）のとおり決することについて、いずれも異議なく原案可決。

日程第2 JR北海道の事業範囲の見直し等に関する地方路線問題の調査に関する件を議題とし、北海道地方路線問題調査特別委員長から、当委員会における調査の経過と結果について報告。

討論に入り、畠山みのり議員（民主）から、北海道地方路線問題調査特別委員長報告に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、本件調査は、委員長報告をもって終了することについて、起立採決の結果、起立多数により、原案可決。

日程第3 選挙管理委員及び同補充員の選挙を議題とし、選挙の方法は指名推選によることについて異議なく決定。

次に、指名の方法は議長において指名することについて異議なく決定。

次に、議長指名により次のとおり当選人とすることについて異議なく決定。

○選挙管理委員（4人）

札幌市	大崎 誠子
札幌市	藤川 雅司
札幌市	増谷 康博
名寄市	清水 敬二

○選挙管理委員補充員（4人）

札幌市	高橋 定敏
北広島市	小岩 均
札幌市	橋本 幸尚
江別市	長尾 法明

補充員の委員補充順位を配付の順位とすることについて異議なく決定。

日程第4 会議案第2号及び第3号を議題とし、説明及び会議案第3号の委員会付託を省略。

採決に入り、いずれも異議なく原案可決。

日程第5 決議案第1号を議題とし、説明及び委員会付託を省略。

採決に入り、起立採決の結果、起立多数により、原案可決。

日程第6 意見案第1号ないし第4号を議題とし、説明及び意見案第1号及び第2号の委員会付託を省略。

討論に入り、真下紀子議員（共産）から、意見案第1号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、意見案第 1 号を問題とし、起立採決の結果、起立多数により、原案可決。

次に、意見案第 2 号ないし第 4 号を問題とし、いずれも異議なく原案可決。

閉会申請願継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに議会運営委員長及び産炭地域振興・エネルギー調査特別委員長から、申出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、すべて議了し、午後 2 時 47 分閉会。

提出案件

知事から提出のあった案件

議 案

番号	件 名	提 出 日 年 月 日	付 託 委 員 会	議 決 年 月 日	議 決 状 況
1	令和6年度北海道一般会計補正予算（第5号）	6.11.26	予 算	6.12.12	原案可決
2	令和6年度北海道中小企業高度化資金貸付事業等特別会計補正予算（第1号）	6.11.26	予 算	6.12.12	原案可決
3	北海道宿泊税条例案	6.11.26	総 務	6.12.12	修正議決
4	北海道脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の推進のための道税の課税の特例に関する条例案	6.11.26	産炭地域振興・エネルギー調査	6.12.12	原案可決
5	刑法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例案	6.11.26	総 務	6.12.12	原案可決
6	北海道知事等の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	6.11.26	総 務	6.11.29	原案可決
7	北海道総合政策部手数料条例の一部を改正する条例案	6.11.26	総合政策	6.12.12	原案可決
8	北海道総合政策部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案	6.11.26	総合政策	6.12.12	原案可決
9	北海道環境生活部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案	6.11.26	環境生活	6.12.12	原案可決
10	北海道生物の多様性の保全等に関する条例の一部を改正する条例案	6.11.26	環境生活	6.12.12	原案可決
11	北海道保健福祉部手数料条例の一部を改正する条例案	6.11.26	保健福祉	6.12.12	原案可決
12	北海道保健福祉部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案	6.11.26	保健福祉	6.12.12	原案可決
13	北海道児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	6.11.26	子ども政策調査	6.12.12	原案可決
14	北海道青少年健全育成条例の一部を改正する条例案	6.11.26	子ども政策調査	6.12.12	原案可決
15	北海道地球温暖化防止対策条例の一部を改正する条例案	6.11.26	産炭地域振興・エネルギー調査	6.12.12	原案可決
16	北海道農政部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案	6.11.26	農 政	6.12.12	原案可決
17	北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案	6.11.26	建 設	6.12.12	原案可決
18	北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例案	6.11.26	建 設	6.12.12	原案可決
19	北海道公安委員会手数料条例の一部を改正する条例案	6.11.26	総 務	6.12.12	原案可決
20	国営造成施設管理事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	6.11.26	農 政	6.12.12	原案可決
21	宝くじの発売に関する件	6.11.26	予 算	6.12.12	原案可決
22	公の施設の指定管理者の指定に関する件	6.11.26	総 務	6.12.12	原案可決
23	公の施設の指定管理者の指定に関する件	6.11.26	総 務	6.12.12	原案可決
24	公の施設の指定管理者の指定に関する件	6.11.26	環境生活	6.12.12	原案可決
25	公の施設の指定管理者の指定に関する件	6.11.26	環境生活	6.12.12	原案可決
26	北海道公立大学法人札幌医科大学に対する財産の出資に関する件	6.11.26	総 務	6.12.12	原案可決
27	北海道公立大学法人札幌医科大学の中期目標に関する件	6.11.26	総 務	6.12.12	原案可決
28	地方独立行政法人北海道立総合研究機構の中期目標に関する件	6.11.26	総合政策	6.12.12	原案可決
29	工事請負契約の締結に関する件	6.11.26	建 設	6.12.12	原案可決
30	工事請負契約の締結に関する件	6.11.26	建 設	6.12.12	原案可決

番号	件名	提出 年月日	付託 委員会	議決 年月日	議決 状況
31	工事請負契約の変更に関する件	6.11.26	総務	6.12.12	原案可決
32	令和6年度北海道一般会計補正予算（第6号）	6.12.3	予算	6.12.12	原案可決
33	北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	6.12.3	予算	6.12.12	原案可決
34	北海道学校職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	6.12.3	予算	6.12.12	原案可決
35	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	6.12.3	予算	6.12.12	原案可決
36	北海道地方警察職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	6.12.3	予算	6.12.12	原案可決

報告

番号	件名	提出 年月日	付託 委員会	議決 年月日	議決 状況
1	専決処分報告につき承認を求める件	6.11.26	予算	6.12.12	承認議決
2	土地信託の事務処理状況に関する件	6.11.26	報告のみ	—	—
3	令和6年度北海道地方競馬特別会計に係る弾力条項の適用報告の件	6.11.26	報告のみ	—	—
4	専決処分報告の件	6.11.26	報告のみ	—	—
5	専決処分報告の件	6.11.26	報告のみ	—	—
6	専決処分報告の件	6.11.26	報告のみ		
7	専決処分報告の件	6.11.26	報告のみ	—	—

前会から継続審査中の案件

報告

番号	件名	提出 年月日	付託 委員会	議決 年月日	議決 状況
1	令和5年度北海道一般会計及び特別会計歳入歳出決算に関する件	6.9.10	決算	6.11.26	認定議決
2	令和5年度北海道公共下水道事業会計決算に関する件	6.9.10	決算	6.11.26	認定議決
3	令和5年度北海道流域下水道事業会計決算に関する件	6.9.10	決算	6.11.26	認定議決
4	令和5年度北海道電気事業会計決算に関する件	6.9.10	決算	6.11.26	認定議決
5	令和5年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	6.9.10	決算	6.11.26	認定議決
6	令和5年度北海道病院事業会計決算に関する件	6.9.10	決算	6.11.26	認定議決

議員又は委員会から提出のあった案件

会 議 案

番号	件 名	提 出 者	提 出 日 年 月 日	議 決 日 年 月 日	議 決 状 況
1	北海道カスタマーハラスメント防止条例案	三好 雅 議員ほか12人	6. 11. 26	6. 11. 26	原案可決
2	北海道議会議事規則の一部を改正する規則案	議会運営委員長 船橋 賢二	6. 12. 12	6. 12. 12	原案可決
3	北海道議会の会派及び議員の政務活動費に関する条例の一部を改正する条例案	三好 雅 議員ほか10人	6. 12. 12	6. 12. 12	原案可決

決 議 案

番号	件 名	提 出 者	提 出 日 年 月 日	議 決 日 年 月 日	議 決 状 況
1	特別委員会の調査事項に関する決議	三好 雅 議員ほか8人	6. 12. 12	6. 12. 12	原案可決

意 見 案

番号	件 名	提 出 者	提 出 日 年 月 日	議 決 日 年 月 日	議 決 状 況
1	台湾の国連気候変動枠組条約（U N F C C C）への参加を積極的に支援するよう求める意見書	太田 憲之 議員ほか4人	6. 12. 11	6. 12. 12	原案可決
2	ヒグマ捕獲体制の強化を求める意見書	太田 憲之 議員ほか5人	6. 12. 11	6. 12. 12	原案可決
3	国立・公立・公的医療機関の機能強化を求める意見書	保健福祉委員長 畠山 みのり	6. 12. 11	6. 12. 12	原案可決
4	私立専修学校等における専門職業人材の育成機能の強化等を求める意見書	文教委員長 大越 農子	6. 12. 11	6. 12. 12	原案可決

会 議 案

会議案第 1 号

北海道カスタマーハラスメント防止条例案

令和 6 年 11 月 26 日
三好 雅 議員ほか 12 人 提出
令和 6 年 11 月 26 日 原案可決

北海道カスタマーハラスメント防止条例

目次

前文

第 1 章 総則（第 1 条－第 7 条）

第 2 章 基本的施策（第 8 条－第 14 条）

第 3 章 北海道カスタマーハラスメント対策推進協議会（第 15 条）

第 4 章 雑則（第 16 条－第 18 条）

附則

今日、顧客等が行き過ぎた要求や言動、迷惑行為などのカスタマーハラスメントをすることにより、従業者等の人格や尊厳を傷つけ、心身に重大な影響を与えることで離職等につながり、また、事業者にとっては、人口減少による働き手の不足が深刻化している中であって、一部の業種では事業活動の継続が困難になったところもある。

我々の快適な暮らしは、それを支える物やサービスを提供する人々の存在があってこそである。このことを道民一人一人が自覚し、カスタマーハラスメントの加害者にならないよう努めるとともに、顧客等や従業者等は、カスタマーハラスメントに関する理解を深め、防止に努め、事業者等も就業環境を悪化させる要因から従業者等を守る方策を講じていく必要がある。

こうした考え方に立って、道民、顧客等、事業者等、市町村及び道が、カスタマーハラスメントの防止に主体的に取り組み、それぞれの役割と責務を認識し、カスタマーハラスメント防止の必要性及び重要性を社会全体で共有することによって、全ての人々が将来にわたり安心して、快適で豊かな消費生活を享受し、お互いを尊重し、多様な価値観を認め合う寛容な地域社会を築き上げることを目指して、本条例を制定する。

第 1 章 総則

（目的）

第 1 条 この条例は、顧客等からの著しい迷惑行為であるカスタマーハラスメントが従業者等の業務の遂行に支障を生じさせ、従業者等の心身に重大な影響を及ぼすとともに、事業者の事業活動の継続や他の顧客等の消費生活環境にも影響を及ぼすおそれがあること等に鑑み、消費者の権利が擁護されるよう配慮しつつ、カスタマーハラスメントの防止に関し基本理念を定め、道、事業者等及び顧客等の役割を明らかにし、カスタマーハラスメントの防止のための対策の基本となる事項を定めることにより、カスタマーハラスメント対策を総合的に推進して、従業者等が心身の健康を保持してその有する能力を有効に発揮し、充実した生活を営むことができるようにするとともに、事業者等が顧客等との良好な関係の下安定的に事業を継続し、もって社会経済の健全な発展に資することを目的とする。

（定義）

第 2 条 この条例において「顧客等」とは、事業者により物品又は役務の提供（公共サービスを含む。）を受け、または受ける可能性のある者又は事業者の

業務に関係する者をいう。

2 この条例において「事業者」とは、顧客等に物品又は役務を提供する事業（非営利を含む。）を行う法人その他の団体（国や地方公共団体の機関を含む。）又は個人をいう。

3 この条例において「事業者団体」とは、事業者として共通の利益を増進することを主たる目的とする事業者の結合体又はその連合体をいう。

4 この条例において「従業者等」とは、事業者の役員若しくは使用人その他の従業者又は事業者（個人に限る。）であって、顧客等と直接の契約関係にあるか否かを問わない。

5 この条例において「カスタマーハラスメント」とは、従業者等に対する顧客等からの要求、言動等のうち、その態様や程度が社会通念上不相当なものであって、当該要求、言動等により、従業者等の就業環境が害される行為をいう。
（基本理念）

第3条 カスタマーハラスメントの防止のための対策（以下「カスタマーハラスメント対策」という。）は、顧客等、事業者等、道民それぞれの主体的な取組により推進されなければならない。

2 カスタマーハラスメント対策は、事業者等がその従業者等をカスタマーハラスメントから保護し、良好な就業環境を守るための取組として適正な対応を行うことが重要であるという認識の下に、各関連法令の趣旨を踏まえて推進されなければならない。

3 カスタマーハラスメント対策は、顧客等の苦情の申出等を行う機会を確保することが当該顧客等の利益を擁護するものであるとともに事業者の事業活動の発展に資することを踏まえ、顧客等からの要望の申出や権利行使等が不当に妨げられることのないよう配慮しなければならない。

（道の責務）

第4条 道は、前条の基本理念にのっとり、カスタマーハラスメント対策に関し、市町村や関係機関との連携を図りつつ、業種や業態の性質等を考慮した施策を策定し、及び実施する責務を有し、市町村が行うその地域の特性に応じた施策の実施に対し必要な支援を行う。

（顧客等の責務）

第5条 顧客等は、カスタマーハラスメントを行ってはならない。

（事業者等の責務）

第6条 事業者は、道が実施するカスタマーハラスメント対策に協力するとともに、カスタマーハラスメント防止に係る取組を主体的に行う。

2 事業者団体は、道が実施するカスタマーハラスメント対策に協力するよう努めるとともに、その構成員である事業者が行うカスタマーハラスメント防止に係る取組について、必要な助言、協力その他の援助を行う。

（道民の役割）

第7条 道民は、カスタマーハラスメントを防止することの必要性及び重要性に対する関心と理解を深めるよう努めるものとする。

第2章 基本的施策

（取組の促進）

第8条 道は、事業者及び事業者団体（以下「事業者等」という。）が行うカスタマーハラスメント防止に係る取組を促進するため、この章に定める施策その他の必要な措置を講ずるものとする。

（指針の作成）

第9条 道は、事業者等が行うカスタマーハラスメント防止に係る取組によりとられることとなるべきカスタマーハラスメントへの適切な対処方法、カスタマーハラスメントの事例、その他の必要な事項を定めた指針を作成し、公表するものとする。

（情報収集及び情報提供）

第10条 道は、カスタマーハラスメントの実態及びカスタマーハラスメント防止

に係る取組等の情報を収集し、事業者等に対し、有用な情報提供を行うものとする。

（相談支援体制の整備）

第11条 道は、カスタマーハラスメントにより心身に被害を受けた従業者等からの相談及びカスタマーハラスメントに関する事業者、顧客等からの相談に的確に応ずるため、身近に相談することができる体制の整備その他の必要な施策を講ずるものとする。

（人材育成等）

第12条 道は、カスタマーハラスメント防止に係る取組に関する専門的知識を有する人材その他のカスタマーハラスメント対策の推進に寄与する人材の育成、資質の向上及び確保を図るため、研修の機会の確保及び情報の提供その他の必要な施策を講ずるものとする。

（啓発活動等）

第13条 道は、カスタマーハラスメントを防止することの必要性及び重要性に対する道民の関心と理解を深めるため、啓発活動及び教育活動の実施その他の必要な施策を講ずるものとする。

（関係機関との連携）

第14条 道は、カスタマーハラスメント対策が効果的に実施されるよう、関係機関、労働者団体、事業者団体その他の民間の団体の間における連携協力を図るために必要な施策を講ずるものとする。

第3章 北海道カスタマーハラスメント対策推進協議会

第15条 道は、カスタマーハラスメント対策に関する情報の共有及び連携の強化を図るため、道、市町村、事業者、関係機関その他の関係者により構成される北海道カスタマーハラスメント対策推進協議会を置くものとする。

第4章 雑則

（関係法令等に基づく措置）

第16条 道は、カスタマーハラスメントの防止のため、この条例に基づく施策のほか、関係法令に基づく措置その他の必要な措置を講ずるものとする。

（財政上の措置等）

第17条 道は、カスタマーハラスメントの防止に関する施策を推進するため必要な財政上の措置を講じなければならない。

（年次報告）

第18条 知事は、毎年、議会に、カスタマーハラスメントの防止に向けた取組について、報告しなければならない。

附 則

- 1 この条例は、令和7年4月1日から施行する。
- 2 知事は、この条例の施行の日から起算して3年を目途として国内の法制度の動向等を踏まえて必要な措置を講じ、その後は、5年を経過するごとに、社会経済情勢の変化等を勘案し、この条例の施行の状況等について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

説 明

カスタマーハラスメントの防止に関し、基本理念を定め、道、事業者等及び顧客等の役割を明らかにし、カスタマーハラスメントの防止のための対策の基本となる事項を定めることにより、カスタマーハラスメント対策を総合的に推進して、従業者等が心身の健康を保持してその有する能力を有効に発揮し、充実した生活を営むことができるようにするとともに、事業者等が顧客等との良好な関係の下安定的に事業を継続し、もって社会経済の健全な発展に資することとするため、この条例を制定しようとするものである。

会議案第 2 号

北海道議会会議規則の一部を改正する規則案

令和 6 年 12 月 12 日
議会運営委員長 船橋 賢二 提出
令和 6 年 12 月 12 日 原案可決

北海道議会会議規則の一部を改正する規則

北海道議会会議規則（昭和 31 年北海道議会告示第 1 号）の一部を次のように改正する。

第 2 条 第 1 項中「出産」の次に「（配偶者の出産を含む。）」を、「介護」の次に「看護」を加える。

第 99 条中「議場」の次に「及び傍聴席」を加える。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

説 明

欠席の届出等について、所要の改正を行うため、この規則を制定しようとするものである。

会議案第 3 号

北海道議会の会派及び議員の政務活動費に関する条例の一部を改正する条例案

令和 6 年 12 月 12 日
三好 雅 議員ほか 10 人 提出
令和 6 年 12 月 12 日 原案可決

北海道議会の会派及び議員の政務活動費に関する条例の一部を改正する条例

北海道議会の会派及び議員の政務活動費に関する条例（平成 13 年北海道条例第 41 号）の一部を次のように改正する。

別記第 1 号様式及び別記第 2 号様式中「㊟」及び「（日本工業規格 A 4）」を削る。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

説 明

議会手続のデジタル化推進に向けた押印の見直しに伴い、政務活動費に係る収入及び支出の報告書について所要の改正を行うため、この条例を制定しようとするものである。

決 議 案

決議案第 1 号

特別委員会の調査事項に関する決議

〔 令和 6 年12月12日
三好 雅 議員ほか 8 人 提出
令和 6 年12月12日 原案可決 〕

新幹線・総合交通体系対策特別委員会（令和 5 年 5 月16日設置）の調査事項中(2)を(3)とし、(1)の次に次のように加える。

(2) J R 北海道の事業範囲の見直し等に係る地方路線問題に関すること。

意見案

意見案第 1 号

台湾の国連気候変動枠組条約（UNFCCC）への参加を積極的に支援 するよう求める意見書

令和 6 年 12 月 11 日
太田 憲之 議員ほか 4 人 提出
令和 6 年 12 月 12 日 原案可決

北海道議会では、これまで日台親善議員会の活動を通じて、台湾との相互交流を行ってきており、友好的な関係を構築してきている。

台湾は国際社会の重要な一員であり、気候変動などの課題解決に対しても、国際組織の総会に会員となって参加することが望まれる。

現在大気中の温室効果ガスの濃度は上昇し続け、世界の平均気温は史上最高を記録しており、待ったなしの普遍的な対策が求められているが、台湾はグリーンエネルギー技術と科学技術力を有しており、世界が気候変動の脅威とサプライチェーンの再構築に直面している現在において、安全で信頼できるパートナーとなることが期待できる。

2022年の台湾のエネルギー効率は、世界第 8 位であり、再生可能エネルギー発電の比率は約 10% を占めており、台湾は、これまで積み上げてきたグリーン技術の優位性と強みを、国際社会において、環境、医療、公衆衛生、グリーンエネルギーなどの分野で運用し、世界に貢献したいと考えていることから、台湾の経験が気候変動解決策の一助となるよう、UNFCCC が平等な参加機会を与え、気候変動に対処するための国際協力のメカニズムに加えることが重要である。

よって、国においては早急に台湾の UNFCCC 参加を積極的に支援するよう強く要望する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
外務大臣
財務大臣
経済産業大臣
環境大臣
内閣官房長官

各通

北海道議会議長 富原 亮

意見案第 2 号

ヒグマ捕獲体制の強化を求める意見書

令和 6 年 12 月 11 日
太田 憲之 議員ほか 5 人 提出
令和 6 年 12 月 12 日 原案可決

北海道のヒグマの推定生息数は、平成 2 年から令和 4 年までの 32 年間で、およそ 2.3 倍の 1 万 2200 頭となり、生息域も拡大を続け、人里への出没の増加とともに、現場対応を担う市町村の負担はますます大きくなっている。

ヒグマによる人身被害は、捕獲時に逆襲を受けるなど狩猟活動中が最も多く、全体の 37.2% を占めている。ヒグマに対峙する従事者は危険を伴う作業となり、ヒグマの捕獲は他の鳥獣に比べ、多大な労力を要することから、従事者の育成確保など体制の強化は喫緊の課題となっている。

こうした中、令和 6 年 10 月 18 日の札幌高裁判決（平成 30 年 8 月、ヒグマ出没対応に係る発砲案件において、道公安委員会が、鳥獣保護管理法違反として捕獲従事者の銃所持許可を取り消した処分について、これを違法とした一審判決を取り消し、請求を棄却するとした判決）を受け、地域の担い手である捕獲従事者に不安が広がっている。

道では、人とヒグマとのあつれきの低減を図るため、「北海道ヒグマ管理計画」に個体数の管理やゾーニング管理の推進などを盛り込む改定を進めているが、今後は、市町村や関係機関・団体との一層の連携協力が重要となっている。

このため環境省においては、現在、鳥獣保護管理法の改正の準備を進めているところであるが、熊が市街地等に出没した際の対応について、地域において、安全かつ円滑に有害捕獲ができるよう環境整備を進める必要がある。

よって、国においては、次の措置を講ずることを求める。

記

- 1 熊類が市街地等に出没した際の対応について、安全かつ円滑に対応できるようにするための鳥獣保護管理法の改正を早期に実現すること。
- 2 新たな法規定について、市町村や関係機関・団体へ十分な説明を行うとともに、着実に運用することができるよう、市街地等出没時のマニュアルの作成など、市町村や関係機関・団体へ技術的な支援を行うこと。
- 3 捕獲従事者が安心して捕獲活動に従事し、安全かつ円滑に有害捕獲ができるよう、地域の捕獲体制の強化に向けた取組への支援を行うこと。

以上、地方自治法第 99 条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
環境大臣

各通

北海道議会議長 富原 亮

意見案第 3 号

国立・公立・公的医療機関の機能強化を求める意見書

令和 6 年 12 月 11 日
保健福祉委員長 畠山 みのり 提出
令和 6 年 12 月 12 日 原案可決

戦後最悪とも言える新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）の感染拡大によって、感染症対策のみならず、日本の医療体制の脆弱さが浮き彫りとなった。新型コロナに感染しても、受け入れる病院・病床・スタッフの不足等、医療体制の逼迫した状態が続き、療養施設や自宅待機を余儀なくされ、医療が必要にもかかわらず入院できぬまま亡くなるという痛ましい事例も相次いだ。

さらに 2024 年 1 月に発生した能登半島地震など、頻発する災害発生時の医療体制の強化も求められている。

国民の命と健康を守るのは国の責務である。そのためにも、全都道府県にネットワークを持つ国立高度専門医療研究センター及び国立病院機構病院（以下、「国立病院」という。）が新興感染症対策など採算の取れないセーフティネット系医療において中心的役割を果たし、地域医療の中心である公立・公的医療機関を機能強化することが、地域医療を守り、充実させることにつながる。

よって、国においては、国立病院を機能強化し、公立・公的医療機関の充実を図るため、次の事項を実施するよう強く要望する。

記

- 1 国民の命を守るセーフティネットとしての役割を確実に果たし、地域医療の充実を図るため、国立病院をはじめとする公立・公的医療機関の機能強化を図ること。
 - 2 国立病院のネットワークを生かし、国の責任で新興感染症や災害医療対策において十分な役割を発揮できるよう対策を講ずること。
- 以上、地方自治法第 99 条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
厚生労働大臣

} 各通

北海道議会議長 富原 亮

意見案第 4 号

私立専修学校等における専門職業人材の育成機能の強化等を求める意見書

令和 6 年 12 月 11 日
文教委員長 大越 農子 提出
令和 6 年 12 月 12 日 原案可決

私立専修学校各種学校（以下、「私立専修学校等」という。）は、時代に伴い変化する産業や地域社会の要請に応え、職業に必要な知識・技術・技能について実践的な教育を行い、即戦力となる専門的な職業人の育成に努めながら、職業資格者を養成する地域の中核的な職業教育機関として、地域の産業・経済の発展や文化の振興等に貢献している。また、社会人のキャリアアップ等の学習機会の提供や国、本道が行うキャリア教育の補完等のもとより、厚生労働省の離職者対策事業、文部科学省の地域産業の発展を支える人材育成事業においても重要な役割を果たしている。

このような中、国はこれまで、企業等と密接に連携して実践的かつ専門的な職業教育に取り組む「職業実践専門課程」制度や専門職大学、専門職短期大学制度により、国際競争力の強化と産業構造の急速な転換に対応した職業教育を進めるとともに、令和 2 年度からは全ての子どもが希望する教育を受けられるべく、高等教育の修学支援制度を実現し、令和 4 年度においても都道府県の職業実践専門課程への補助に対する特別交付税措置が図られたが、少子高齢化や人口減少が進む本道においては地域産業の担い手となる専門職業人材のさらなる養成は喫緊の課題であり、関係府省が連携してなお一層取り組む必要がある。

また、私立高等専修学校においては、後期中等教育機関として職業教育を受けた生徒を地域社会に輩出しているばかりではなく、不登校経験や発達障がい等があり、学習に特別な配慮を必要とする多様な生徒を多く受け入れ、経済的自立を促す職業教育や特別支援学校高等部と同様に障がい者雇用の開拓などを行い、地域社会に送り出す「学びのセーフティネット」として、地域にとって重要な役割を果たしており、こうした機能を維持するためには、職業実践専門課程と同様、特段の財政支援措置が必要である。

よって、国においては、地域産業を担う専門的な職業人材を育成するための教育が以前より重要性を増していること、また、私立専修学校等が学校教育法第 1 条に規定されていないことから大学等と比較し、様々な格差が生じている現状等に鑑み、次の措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 少子高齢化や人口減少に伴い、私立専修学校等を取り巻く環境はますます厳しさを増していることから、教育条件の維持向上と経営基盤安定のため、既存の大学等に準じた新たな財政支援措置を講ずること。
 - 2 私立高等専修学校が安定的な教育活動を行えるよう、その運営に必要な経費に対して、国の責任において、補助制度や特別交付税等の地方財政措置の創設など職業実践専門課程と同様に、特段の財政支援措置を講ずること。
 - 3 私立専修学校等の施設に対する恒久的な災害復旧補助制度を創設すること。
- 以上、地方自治法第 99 条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
文部科学大臣

各通

北海道議会議長 富 原 亮

請 願

各常任・特別委員会に付託されたもの

受 理 号	件 名	付 託 委 員 会	審 査 結 果
19	ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する件	文 教	継続審査
20	私立学校生徒の学費無償化を求める件	文 教	継続審査
21	私学の経常費及び授業料助成の増額に関する件	文 教	継続審査

委 員 会

議会運営委員会

■11月19日（火） 開議 午後1時3分
散会 午後1時8分
議会運営委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

開議に先立ち、富原議長の欠席を報告。

- ① 三笠宮崇仁親王妃百合子殿下の薨去について
・議長から弔詞を奉呈した旨を報告。
- ② 補欠当選議員について
・10月27日執行の釧路市選挙区の補欠選挙において伊東尚悟議員並びに岡田遼議員が当選し、10月29日付けをもって伊東尚悟議員が自民党・道民会議に、岡田遼議員が民主・道民連合に入会した旨の届け出があったことを報告。
・各派の所属議員数は、自民党・道民会議53名、民主・道民連合27名、北海道結志会8名、公明党8名、日本共産党2名、維新・大地1名となったことを報告。
- ③ 補欠当選議員の常任委員及び特別委員選任について
・10月29日付けをもって、伊東尚悟議員を文教委員及び子ども政策調査特別委員に、岡田遼議員を総務委員及び食と観光調査特別委員に選任したことを報告。
- ④ 令和6年第4回定例会について
・総務部長から招集日を11月26日とする旨発言があり、これを了承。
・総務部長から、提出予定の主要案件について説明。
・議員発議により、北海道カスタマーハラスメント防止条例案が提出される予定である旨、議長から通知があったことを報告。
・会期について、17日間とすることに決定。
・日程について、次のとおり取り進めることに決定。

〔第4回定例会〕

11月26日 本会議（提案説明）
11月27日～11月28日 休会
11月29日 本会議（一般質問）

12月2日～12月3日 本会議（一般質問）
12月4日～12月6日 休会
12月9日～12月11日 休会
12月12日 本会議

- ⑤ 決算特別委員会の審議状況について
・前会より継続審査中の報告第1号ないし第6号、「令和5年度北海道各会計決算に関する件」は、11月14日の決算特別委員会において、いずれも認定議決と決定し、審査を終了したことを報告。
・本件については招集日の本会議において委員長報告を行い、議決することに決定。

■11月25日（月） 開議 午前9時15分
散会 午前9時19分
議会運営委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

- ① 提出議案の事前説明について
・総務部長から説明。
・先議要請のあった議案第6号の条例案については、先議することに決定。
・本件に関する質疑について、1名の通告があったことを報告。
- ② 先議の方法について
・明日の本会議において、提出議案に関する説明の後、先議することを議決した上、質疑を行い、所管の総務委員会に付託し、委員会審査の後、再開日の11月29日の本会議冒頭に委員長報告を行い、議決する扱いにすることに決定。
- ③ 一般質問の通告書について
・11月27日の正午までとする。
- ④ 予算特別委員会について
・委員会構成及び正副委員長の配分は、協議事項に記載のとおりとする。
・委員名簿の提出は、11月29日の正午までとする。
- ⑤ 休会について
・議案等調査のため、11月27日から28日までは本会議を休会し、11月29日に再開することに決定。
- ⑥ 11月26日の本会議議事順序について
・明日の委員会において協議することとする。

■11月26日（火） 開議 午前9時15分
散会 午前9時18分
議会運営委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

① 議席について

- ・配付の議席表のとおり、伊東尚悟議員の議席は6番に、岡田遼議員の議席は2番に決定。
- ・本日の本会議において、議長が、補欠当選議員を紹介し、補欠当選議員は起立一礼、他の議員は拍手でこれに応えることを説明。

② 会議案の取扱いについて

- ・配付のとおり、会議案第1号の提出があり、本日の本会議において議決することに決定。

③ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

④ 北海道選挙管理委員及び補充員の選挙について

- ・選挙管理委員会委員長から議長に対し、選挙管理委員及び補充員の任期が、12月27日をもって満了するため、選挙願いたい旨依頼があり、議長から、各派会長会議において取扱いを協議中である旨、話があったことを報告。
- ・本件に関する選挙の取扱いについては、改めて協議願うこととする。

⑤ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。

■11月29日（金） 開議 午前9時18分
散会 午前9時21分
議会運営委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

① 議案第6号の審議状況について

- ・総務委員会において、審査を終了したため、本日の本会議冒頭において、委員長報告を行い、議決する扱いとする。

② 一般質問について

- ・16名の通告があり、個人別の順位については、配付の通告一覧のとおりとする。
- ・本日は1番から4番までの4名、12月2日は5番から8番までの4名、12月3日は9番から16番までの8名の予定で取り進めることを決定。

③ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

④ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。

■12月2日（月） 開議 午後0時15分
散会 午後0時17分
議会運営委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

① 本日の本会議について

- ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ・本日の一般質問は5番から8番までの4名を行う。

② 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

③ 本会議開議時刻について

- ・午後1時開会とする。

■12月3日（火） 開議 午前9時19分
散会 午前9時24分
議会運営委員会室
委員長 船橋 賢二（自民）

① 一般質問について

- ・通告内容等の変更について了承。
- ・本日は9番から16番までの8名を行う。

② 追加提出議案の事前説明について

- ・総務部長から補正予算案及び条例案の追加提出について説明。
- ・本件については、本日の本会議において、一般質問終了後、日程第1の議事を中止した上で、追加日程として提案説明を行うことに決定。

③ 予算特別委員会について

- ・本日、一般質問終了後、設置する。
- ・分科会の委員数は、配付の協議事項のとおり決定した旨報告。
- ・委員の選任については、配付の名簿のとおりとする。

④ 議案の各委員会付託について

- ・配付資料のとおり付託することに決定。

- ⑤ 休会について
 - ・各委員会付託議案等審査のため、12月4日から6日まで及び9日から11日までは本会議を休会することとし、12月12日に再開することに決定。
- ⑥ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑦ 議会食堂の出店予定者の選定について
 - ・事業者1者から参加表明及び企画提案書の提出があり、議会事務局が行った公募審査会の審査結果を踏まえ、理事会協議のとおり、（A者）とすることに決定。
- ⑧ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。
 - ・12月12日の本会議は、午後1時開会とする。

■12月12日（木） 開議 午後0時16分
 散会 午後0時23分
 議会運営委員会室
 委員長 船橋 賢二（自民）

- ① 各委員会付託議案の審議状況について
 - ・各委員会付託議案は、すべて議了したことを報告。
 - ・総務委員長報告に関する質疑について、1名の通告があったことを報告。
- ② 北海道地方路線問題調査特別委員会について
 - ・昨日の委員会において調査終了の決定をしたことを報告。
 - ・本件について、本日の本会議において委員長報告を行い、調査終了を議決することに決定。
- ③ 北海道選挙管理委員及び同補充員の選挙について
 - ・本日の本会議において選挙を行うことに決定。
 - ・選挙の方法は、指名推選によることとし、議長において指名することに決定。
 - ・配付の名簿のとおり指名することとし、補充員の委員補充の順位は、配付名簿の指名の順位によることに決定。
- ④ 会議規則の一部改正について
 - ・議会運営委員会において、配付の会議案第2号を発議することとし、本日の本会議において、議決することに決定。
- ⑤ 会議案の取扱いについて
 - ・配付のとおり、会議案第3号の提出があり、本日の本会議において、議決することに決定。
- ⑥ 決議案の取扱いについて
 - ・配付のとおり、決議案第1号の提出があり、本日の本会議において、議決することに決定。
- ⑦ 意見案の取扱いについて
 - ・配付のとおり、意見案第1号ないし第4号の提出があり、本日の本会議において議決することに決定。
- ⑧ 継続調査の申し出について
 - ・配付の申出書のとおり、議長に閉会中継続調査を申し出ることに決定。
- ⑨ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑩ 本会議の欠席について
 - ・総務部長から、鈴木病院事業管理者が病氣治療のため、本日の本会議欠席の発言があり、これを了承。
- ⑪ 令和7年第1回定例会の招集予定日について
 - ・総務部長から、2月19日を予定している旨の発言があり、これを了承。
- ⑫ 議員研修会について
 - ・配付の実施要領案のとおり、第1回定例会招集予定日前日の2月18日に実施することに決定。
- ⑬ 本会議開議時刻について
 - ・午後1時開会とする。

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

■11月6日（水） 開議 午後1時8分
散会 午後2時2分
第5委員会室
委員長 久保秋雄太（自民）

開議前

1. 委員の補充選任報告及び新委員の紹介

議 事

1. 議席の一部変更の件 [決定]
1. 総務部所管の公の施設（北海道立道民活動センター・北海道庁旧本庁舎）に係る指定管理者の候補者選定に関する報告聴取の件
[イノベーション推進局財産担当局長報告]
1. 新型コロナ臨時交付金等の返還事案に関する報告聴取の件
[財政局長、イノベーション推進局長報告]
1. 北海道雪害対策連絡部連携確認訓練の実施結果に関する報告聴取の件
[危機対策局長報告]
1. 令和6年度北海道石油コンビナート等総合防災訓練の実施結果に関する報告聴取の件
[危機対策局長報告]
1. 「令和6年職員の給与等に関する報告及び給与改定に関する勧告」に関する報告聴取の件
[人事委員会事務局長報告]

質 疑

1. 千葉 真裕 委員（自民）
～新型コロナ臨時交付金等の返還事案について
1. 松山 丈史 委員（民主）
～新型コロナ臨時交付金等の返還事案について

■11月25日（月） 開議 午前10時7分
散会 午前10時51分
第5委員会室
委員長 久保秋雄太（自民）

議 事

1. 令和6年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[総務部長、道警察本部総務部長説明]

1. 令和6年度政策評価（総務部・警察本部所管分）の結果に関する報告聴取の件
[総務部次長兼行政局長、
道警察本部警務部参事官兼警務課長報告]
1. デジタル技術の効果的な活用に向けた条例及び規則等の点検結果等に関する報告聴取の件
[イノベーション推進局長報告]
1. 知事公館・近代美術館エリア活用構想（素案）に関する報告聴取の件
[イノベーション推進局財産担当局長]
1. 北海道地域防災計画の修正案に関する報告聴取の件
[総務部危機管理監報告]
1. 令和6年度北海道防災総合訓練（第2回）の実施に関する報告聴取の件
[危機対策局長報告]
1. 令和6年度弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施結果に関する報告聴取の件
[危機対策局長報告]
1. 令和6年度北海道原子力防災総合訓練の実施結果に関する報告聴取の件
[危機対策局原子力安全対策担当局長報告]
1. 警察署の機能強化に向けた再編整備計画に関する報告聴取の件
[道警察本部札幌市警察部長兼警務部参事官、
サイバーセキュリティ対策本部長報告]

質 疑

1. 荒当 聖吾 委員（公明）
～令和6年度北海道防災総合訓練（第2回）の実施について

■11月26日（火） 開議 午前10時56分
散会 午前10時59分
第5委員会室
委員長 久保秋雄太（自民）

議案審査の結果

議案第6号

北海道知事等の給与等に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件（先議案件）

■12月11日（水） 開議 午後12時29分
散会 午後13時49分
第5委員会室
委員長 久保秋雄太（自民）

議案審査の結果

議案第3号

北海道宿泊税条例案（修正議決）

議案第5号

刑法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する
条例案（原案可決）

議案第19号

北海道公安委員会手数料条例の一部を改正する
条例案（原案可決）

議案第22号

公の施設の指定管理者の指定に関する件
（原案可決）

議案第23号

公の施設の指定管理者の指定に関する件
（原案可決）

議案第26号

北海道公立大学法人札幌医科大学に対する財産
の出資に関する件（原案可決）

議案第27号

北海道公立大学法人札幌医科大学の中期目標に
関する件（原案可決）

議案第31号

工事請負契約の変更に関する件（原案可決）

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 疑

1. 松山 丈史 委員（民主）
～付託議案について
1. 滝口 信喜 委員（結志）
～付託議案について

総合政策委員会

■11月6日（水） 開議 午後1時10分
散会 午後1時20分
第4委員会室
委員長 赤根 広介（結志）

議 事

1. 外国人技能実習制度に係る受入状況調査の
結果に関する報告聴取の件
[国際局外国人材担当局長報告]

■11月25日（月） 開議 午前10時10分
散会 午前10時42分
第4委員会室
委員長 赤根 広介（結志）

議 事

1. 令和6年第4回定例会提出予定案件の事前説
明聴取の件 [総合政策部長説明]
1. 令和6年度政策評価の結果に関する報告聴取
の件 [計画局長報告]
1. 次期「北海道SDGs未来都市計画」（素案）
に関する報告聴取の件 [計画局長報告]
1. 次期「北海道強靱化計画」（素案）に関する
報告聴取の件 [計画局長報告]
1. 次期「北海道インフラ長寿化計画」（素案）
に関する報告聴取の件 [計画局長報告]
1. 「北海道地域振興条例」の点検結果等に関する
報告聴取の件 [地域創生局長報告]
1. 次期「連携地域別政策展開方針」（素案）に
関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

■12月11日（水） 開議 午前10時10分
散会 午前10時21分
第4委員会室
委員長 赤根 広介（結志）

議案審査の結果

議案第7号

北海道総合政策部手数料条例の一部を改正する
条例案（原案可決）

議案第8号

北海道総合政策部の事務処理の特例に関する条
例の一部を改正する条例案（原案可決）

議案第28号

地方独立行政法人北海道立総合研究機構の中期
目標に関する件 (原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

環境生活委員会

■11月6日(水) 開議 午後1時10分
散会 午後1時19分
第12委員会室
委員長 中野渡志穂 (公明)

議 事

1. 北海道災害廃棄物処理計画の見直しに関する
報告聴取の件 [環境保全局長報告]
1. 北海道ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画の
見直しに関する報告聴取の件
[環境保全局長報告]
1. 指定管理者の候補者選定に関する報告聴取の
件 [くらし安全局長報告]

■11月25日(月) 開議 午前10時5分
散会 午前10時36分
第12委員会室
委員長 中野渡志穂 (公明)

議 事

1. 令和6年第4回定例会提出予定案件の事前説
明聴取の件 [環境生活部長説明]
1. 令和6年度政策評価(環境生活部所管分)の
結果に関する報告聴取の件
[環境生活部次長報告]
1. 北海道環境教育等行動計画の改定(素案)に
関する報告聴取の件 [環境保全局長報告]
1. 北海道ヒグマ管理計画(第2期)の改定(案)
に関する報告聴取の件
[野生動物対策担当局長報告]
1. 第4次北海道消費生活基本計画(素案)に関
する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]

1. 北海道博物館第3期中期目標・計画(素案)
に関する報告聴取の件 [文化局長報告]
1. 北海道における縄文世界遺産の拠点形成方針
(案)に関する報告聴取の件
[文化局長報告]

質 疑

1. 真下 紀子 委員(共産)
～北海道における縄文世界遺産の拠点形成方針
(案)について

■12月11日(水) 開議 午前10時5分
散会 午前10時38分
第12委員会室
委員長 中野渡志穂 (公明)

議案審査の結果

議案第9号

北海道環境生活部の事務処理の特例に関する条
例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第10号

北海道生物の多様性の保全等に関する条例の一
部を改正する条例案 (原案可決)

議案第24号

公の施設の指定管理者の指定に関する件
(原案可決)

議案第25号

公の施設の指定管理者の指定に関する件
(原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 北海道博物館の保管するアイヌ遺骨等の返還
申請の状況等に関する報告聴取の件
[文化局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 疑

1. 石川 さわ子 委員(結志)
～北海道博物館の保管するアイヌ遺骨等の返還
申請の状況等について

質 問

1. 真下 紀子 委員(共産)
～ヒグマ管理計画について

保健福祉委員会

■11月6日（水） 開議 午後1時9分
散会 午後1時20分
第6委員会室
委員長 畠山みのり（民主）

議 事

1. 「第71回北海道社会福祉大会」出席報告の件
[委員長報告]
1. 介護保険制度の施行状況に関する報告聴取の件
[福祉局長報告]
1. 道立病院における令和6年度上半期の医療事故等の発生状況に関する報告聴取の件
[道立病院局次長報告]

■11月25日（月） 開議 午前10時4分
散会 午前10時21分
第6委員会室
委員長 畠山みのり（民主）

議 事

1. 令和6年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[保健福祉部長説明]
1. 令和6年度政策評価（保健福祉部・道立病院局所管分）の結果に関する報告聴取の件
[保健福祉部次長報告]
1. 「北海道薬剤師確保計画（素案）」に関する報告聴取の件
[地域医療推進局長報告]
1. 次期「北海道新型インフルエンザ等対策行動計画（素案）」に関する報告聴取の件
[感染症対策局長報告]
1. 「旅館業法施行条例の一部を改正する条例（素案）」に関する報告聴取の件
[健康安全局長報告]

■12月11日（水） 開議 午前10時5分
散会 午前10時13分
第6委員会室
委員長 畠山みのり（民主）

議案審査の結果

議案第11号

北海道保健福祉部手数料条例の一部を改正する
条例案
(原案可決)

議案第12号

北海道保健福祉部の事務処理の特例に関する条
例の一部を改正する条例案
(原案可決)

請願審査の結果

請願第1号

新登別大橋への高欄設置についての件
(継続審査)

請願第15号

「物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引上げを
国に求める意見書」の提出を求める件
(継続審査)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 意見案発議の件
[決定]
1. 北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条
例の一部を改正する条例（素案）に関する報
告聴取の件
[健康安全局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

経 済 委 員 会

■11月6日（水） 開議 午後1時9分
散会 午後1時16分
第7委員会室
委員長 菅原 和忠（民主）

議 事

1. 令和6年度商店街実態調査に関する報告聴取
の件
[地域経済局長報告]

■11月25日（月） 開議 午前10時5分
散会 午前10時30分
第7委員会室
委員長 菅原 和忠（民主）

議 事

1. 令和6年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
[経済部長説明]
1. 令和6年度政策評価（経済部所管分）の結果
に関する報告聴取の件

[経済部次長兼経済企画局長報告]

1. 「企業経営者意識調査（令和6年10－12月期）における原油・原材料価格高騰の影響・人手不足の状況等調査の結果概要（中間とりまとめ）」に関する報告聴取の件

[経済部次長兼経済企画局長報告]

1. 次期「今後の高等技術専門学院の運営方針」（仮称）の策定に関する報告聴取の件
[産業人材担当局長報告]

質 問

1. 早坂 貴敏 委員（自民）
～商工会議所の経営支援体制の拡充・強化について

■12月11日（水） 開議 午前10時4分
散会 午前10時6分
第7委員会室
委員長 菅原 和忠（民主）

議 事

1. 道内調査実施の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

農 政 委 員 会

■11月6日（水） 開議 午後1時10分
散会 午後1時30分
第10委員会室
委員長 清水 拓也（自民）

議 事

1. 令和7年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要説明聴取の件 [農政部長説明]
1. 令和7年度国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]
1. 令和7年度畜産物価格等に関する提案・要望の概要説明聴取の件 [農政部長説明]
1. 令和7年度畜産物価格等に関する中央要請実施の件 [決定]
1. 令和6年度北海道地方競馬特別会計に係る弾力条項の適用に関する報告聴取の件 [競馬事業室長報告]

1. 令和5年新規就農者実態調査結果に関する報告聴取の件 [農業経営局長報告]

質 疑

1. 今津 寛史 委員（自民）
～令和5年新規就農者実態調査結果について

■11月25日（月） 開議 午前10時5分
散会 午前10時34分
第10委員会室
委員長 清水 拓也（自民）

議 事

1. 令和7年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和7年度畜産物価格等に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和6年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [農政部長説明]
1. 令和6年度補正予算を踏まえた農業施策に係る要請に関する報告聴取の件 [農政部長報告]
1. 令和6年度政策評価（農政部所管分）の結果に関する報告聴取の件 [農政部次長報告]
1. 令和6年度ホッカイドウ競馬の開催結果に関する報告聴取の件 [競馬事業室長報告]

質 問

1. 今津 寛史 委員（自民）
～農地バンクについて
1. 黒田 栄継 委員（自民）
～エゾシカによる農業被害について

■12月11日（水） 開議 午前10時4分
散会 午前10時36分
第10委員会室
委員長 清水 拓也（自民）

議案審査の結果

議案第16号

北海道農政部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案（原案可決）

議案第20号

国営造成施設管理事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議 事

1. 付託議案審査の件

1. 令和6年度国費補正予算の概要に関する報告聴取の件 [農政部長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 問

1. 今津 寛史 委員（自民）
～農福連携の推進について
1. 白川 祥二 委員（結志）
～農地所有適格法人について
1. 黒田 栄継 委員（自民）
～種バレイショ生産について

水産林務委員会

- 11月6日（水） 開議 午後1時10分
散会 午後1時16分
第8委員会室
委員長 桐木 茂雄（自民）

議 事

1. 「第47回全国育樹祭」参加報告の件 [委員長報告]
1. 「第73回全国漁港漁場大会」参加報告の件 [委員長報告]
1. 令和7年度国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]
1. 第1回北海道豊かな海づくり大会の検討状況に関する報告聴取の件 [水産局水産基盤整備担当局長報告]

- 11月25日（月） 開議 午前10時5分
散会 午前10時22分
第8委員会室
委員長 桐木 茂雄（自民）

議 事

1. 「第43回全国豊かな海づくり大会おんせん県おおいた大会」参加報告の件 [委員長報告]
1. 令和7年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和6年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [水産林務部長説明]
1. 令和6年度政策評価の結果（水産林務部所管

- 分）に関する報告聴取の件 [水産林務部次長報告]
1. 令和6年度ナラ枯れ被害に関する報告聴取の件 [林務局森林計画担当局長報告]
1. 北海道食の輸出拡大戦略＜第Ⅲ期＞改訂版（素案）に関する報告聴取の件 [水産林務部技監報告]

- 12月11日（水） 開議 午前10時3分
散会 午前10時25分
第8委員会室
委員長 桐木 茂雄（自民）

議 事

1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質 問

1. 植村 真美 委員（自民）
～燃油に対する課税免除について
1. 小林 雄志 委員（自民）
～ホタテガイ漁業について
～海難事故の防止について

建設委員会

- 11月6日（水） 開議 午後1時10分
散会 午後1時34分
第9委員会室
委員長 丸岩 浩二（自民）

議 事

1. 令和7年度国の施策及び予算に関する中央要請実施の件 [決定]
1. 令和7・8年度建設工事競争入札参加資格審査における技術・社会点の見直し（案）に関する報告聴取の件 [建設政策局建設業担当局長報告]
1. 宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく規制予定区域の公表に関する報告聴取の件 [まちづくり局長報告]
1. 地域課題に対応した道営住宅ストックの柔軟な活用に関する報告聴取の件 [住宅局長報告]

質 問

1. 鶴羽 芳代子 委員（自民）
～道路の維持管理について

■11月25日（月） 開議 午前10時5分
散会 午前10時39分
第9委員会室
委員長 丸岩 浩二（自民）

議 事

1. 令和7年度国の施策及び予算に関する中央要
請実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和6年第4回定例会提出予定案件の事前説
明聴取の件 [建設部長説明]
1. 令和6年度政策評価（建設部所管分）の結果
に関する報告聴取の件
[建設政策局建設企画担当局長報告]
1. 建設工事従事者の安全及び健康の確保に関す
る北海道計画の変更に関する報告聴取の件
[建設政策局建設業担当局長報告]
1. 釧路圏道立広域公園基本構想（案）に関する
報告聴取の件 [まちづくり局長報告]
1. 既存の道立広域公園における民間活力の導入
の考え方に関する報告聴取の件
[まちづくり局長報告]
1. 道営住宅の利便性を踏まえた家賃等の見直し
に関する報告聴取の件 [住宅局長報告]

質 疑

1. 北口 雄幸 委員（民主）
～道営住宅の利便性を踏まえた家賃等の見直し
について

■12月11日（水） 開議 午前10時5分
散会 午前10時12分
第9委員会室
委員長 丸岩 浩二（自民）

議案審査の結果

議案第17号

北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例
案 (原案可決)

議案第18号

北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条
例案 (原案可決)

議案第29号

工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)
議案第30号

工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 道東自動車道（阿寒IC～釧路西IC）開通
式出席の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

文 教 委 員 会

■11月6日（水） 開議 午後1時12分
散会 午後2時22分
第11委員会室
委員長 大越 農子（自民）

開議前

1. 委員の補充選任報告及び新委員の紹介
1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

議 事

1. 議席の一部変更の件 [決定]
1. 令和6年度全国学力・学習状況調査北海道版
結果報告書に関する報告聴取の件
[学校教育局長報告]
1. いじめ問題に関する報告聴取の件
[学校教育局生徒指導・
学校安全担当局長報告]
1. 「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等
生徒指導上の諸課題に関する調査」結果に関
する報告聴取の件
[学校教育局生徒指導・学校安全担当局長、
学事課長報告]

質 疑

1. 戸田 安彦 委員（自民）
～いじめ問題について
～「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等
生徒指導上の諸課題に関する調査」結果につ
いて

質 問

1. 広田 まゆみ 委員（民主）
～アートギャラリー北海道について
～北海道美術品購入サポーター制度について

～「北海道総合教育大綱（素案・たたき台）」について

1. 閉会中における請願継続審査申し出の件

[決定]

1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件

[決定]

■11月25日（月） 開議 午前10時 6 分
散会 午前10時49分
第11委員会室
委員長 大越 農子（自民）

議 事

1. 令和 6 年度政策評価の結果（教育委員会等所管分）に関する報告聴取の件

[総務政策局長、学事課長報告]

1. 北海道立青少年教育施設の今後の在り方（素案）に関する報告聴取の件

[生涯学習推進局長報告]

1. 北海道立近代美術館リニューアル基本構想（素案）に関する報告聴取の件

[生涯学習推進局長報告]

1. 北海道総合教育大綱改定素案に関する報告聴取の件 [学事課学務調整担当課長報告]

質 疑

1. 広田 まゆみ 委員（民主）

～北海道立青少年教育施設の今後の在り方（素案）について

■12月11日（水） 開議 午前10時 5 分
散会 午前11時
第11委員会室
委員長 大越 農子（自民）

請願審査の結果

請願第16号

北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める件
(継続審査)

請願第19号

ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する件
(継続審査)

請願第20号

私立学校生徒の学費無償化を求める件
(継続審査)

請願第21号

私学の経常費及び授業料助成の増額に関する件
(継続審査)

議 事

1. 意見案発議の件 [決定]

特 別 委 員 会

産炭地域振興・エネルギー 調 査 特 別 委 員 会

■11月7日（木） 開議 午前10時6分
散会 午前10時12分
第7委員会室
委員長 三好 雅（自民）

議 事

1. 中央要請実施の件 [決定]
1. 北海道・札幌「GX金融・資産運用特区」
における地方税の税制優遇の基本的考え方
（案）に関する報告聴取の件
[ゼロカーボン推進局
ゼロカーボン産業担当局長報告]

■11月25日（月） 開議 午後1時7分
散会 午後1時28分
第7委員会室
委員長 三好 雅（自民）

議 事

1. 中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和6年第4回定例会提出予定案件の事前説
明聴取の件
[経済部ゼロカーボン推進監説明]
1. 地域未来投資促進法に基づく全道版基本計画
の検討状況に関する報告聴取の件
[ゼロカーボン推進局
ゼロカーボン産業担当局長報告]
1. 最終処分法に基づく文献調査報告書の受理及
び今後の対応に関する報告聴取の件
[資源エネルギー局長兼
ゼロカーボン推進局風力担当局長報告]

質 疑

1. 高橋 亨 委員（民主）
～最終処分法に基づく文献調査報告書の受理及
び今後の対応について

■12月11日（水） 開議 午後2時37分
散会 午後3時5分
第7委員会室
委員長 三好 雅（自民）

議案審査の結果

議案第4号

北海道脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の
推進のための道税の課税の特例に関する条例案
（原案可決）

議案第15号

北海道地球温暖化防止対策条例の一部を改正す
る条例案 （原案可決）

請願審査の結果

請願第2号

特定放射性廃棄物最終処分場選定に係る概要調
査に反対する決議等を求める件 （継続審査）

請願第3号

北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設
建設地選定に係る調査反対及び最終処分法を見
直すよう国に求める件 （継続審査）

請願第4号

北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設
建設地選定に係る調査反対及び最終処分法見直
しを求める件 （継続審査）

請願第5号

北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設
建設地選定に係る調査中止及び最終処分地の受
入れをしないことを求める件 （継続審査）

請願第6号

北海道のどこにも核のごみ（高レベル放射性廃
棄物・特定放射性廃棄物）の最終処分場を設置
しないよう国に求める意見書提出を求める件
（継続審査）

請願第7号

地層処分・核燃料サイクル政策の見直しを国に
求める決議についての件 （継続審査）

請願第8号

寿都町・神恵内村で行われている特定放射性廃
棄物の最終処分地選定に向けた文献調査から概
要調査への移行に反対する決議を求める件
（継続審査）

請願第9号

「東京電力福島第一原子力発電所で発生し、多
核種除去システムにより処理された汚染水を海
洋放出するとの政府方針の撤回、もしくは海洋

放出の即時中止を政府に求める意見書」の提出
を求める件 (継続審査)

請願第10号

発電施設設置に関する北海道独自のガイドライ
ンの作成及び条例制定を求める件 (継続審査)

請願第11号

「福島第一原発のALPS処理水の海洋放出を
直ちに中止し、処理水減容の抜本的対策を求め
る意見書」の提出を求める件 (継続審査)

議 事

1. 付託議案審査の件
1. 北海道国家戦略特別区域会議の開催に関する
報告聴取の件
[ゼロカーボン推進局
GX特区推進担当局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]

質 問

1. 平出 陽子 委員 (民主)
～GX関連企業誘致について
1. 荒当 聖吾 委員 (公明)
～GX推進に係る振興局の体制について

北方領土対策特別委員会

■11月7日(木) 開議 午前10時5分
散会 午前10時14分
第8委員会室
委員長 吉田 祐樹 (自民)

議 事

1. 北方領土返還要求運動滋賀県民会議との意見
交換会への出席報告の件 [委員長報告]
1. 北方領土返還要求アピール行進への参加の件
[決定]

質 問

1. 大越 農子 委員 (自民)
～北方領土の語り部について

■11月25日(月) 開議 午後1時6分
散会 午後1時10分
第8委員会室
委員長 吉田 祐樹 (自民)

議 事

1. 第23回「北方領土の日」ポスターコンテスト
の実施結果に関する報告聴取の件
[北方領土対策局長報告]

■12月11日(水) 開議 午後2時37分
散会 午後2時43分
第8委員会室
委員長 吉田 祐樹 (自民)

議 事

1. 北方領土返還要求アピール行進への参加報
告の件 [委員長報告]
1. 北方領土返還要求アピール行進等の実施結
果に関する報告聴取の件
[北方領土対策課長報告]
1. 令和6年度「北方領土中学生作文コンテス
ト」の実施結果に関する報告聴取の件
[北方領土対策課長報告]

新幹線・総合交通体系対策特別委員会

■11月7日(木) 開議 午前10時6分
散会 午前10時9分
第9委員会室
委員長 花崎 勝 (自民)

議 事

1. 「北海道新幹線札幌延伸推進会議第2回幹事
会(羊蹄トンネル視察)」出席報告の件
[委員長報告]
1. 国際航空路線の状況に関する報告聴取の件
[航空港湾局長報告]

■11月25日(月) 開議 午後1時8分
散会 午後2時1分
第9委員会室
委員長 花崎 勝 (自民)

議 事

1. 令和6年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [総合政策部交通企画監説明]
1. J R 貨物列車脱線事故に関する報告聴取の件 [交通政策局鉄道担当局長報告]
1. 「北海道新幹線札幌延伸に伴う鉄道物流のあり方に関する有識者検討会議（第4回）」の開催結果に関する報告聴取の件 [交通政策局物流担当局長報告]
1. 地域交通の維持・確保に向けた各般の取組に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]

質 議

1. 前田 一男 委員（自民）
～ J R 貨物列車脱線事故について
1. 山根 まさひろ 委員（民主）
～ J R 貨物列車脱線事故について
1. 赤根 広介 委員（結志）
～ J R 貨物列車脱線事故について

■12月11日（水） 開議 午後2時36分
散会 午後2時40分
第9委員会室
委員長 花崎 勝（自民）

議 事

1. 「北海道、ベトナム航空及び北海道エアポート株式会社との連携と協力に関する覚書」に関する報告聴取の件 [航空港湾局長報告]

人口減少問題・地方分権 改革等調査特別委員会

■11月7日（木） 開議 午前10時8分
散会 午前10時16分
第4委員会室
委員長 新沼 透（結志）

議 事

1. 「北海道の人口減少などに関する意識調査」結果の概要に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

■11月25日（月） 開議 午後1時6分
散会 午後1時42分
第4委員会室
委員長 新沼 透（結志）

議 事

1. 北海道人口ビジョン（2024年度改訂版）素案及び第3期北海道創生総合戦略素案に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]
1. 北海道創生総合戦略の進捗状況に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

質 議

1. 市橋 修治 委員（民主）
～北海道人口ビジョン（2024年度改訂版）素案及び第3期北海道創生総合戦略素案について

■12月11日（水） 開議 午後2時36分
散会 午後3時1分
第4委員会室
委員長 新沼 透（結志）

議 事

1. 令和6年度地域資源の魅力を生かした地域創生の取組に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

質 議

1. 中司 哲雄 委員（自民）
～令和6年度地域資源の魅力を生かした地域創生の取組について（意見）

質 問

1. 寺島 信寿 委員（公明）
～二地域居住について

子ども政策調査特別委員会

■11月7日（木） 開議 午前10時4分
散会 午前10時57分
第6委員会室
委員長 池端 英昭（民主）

開議前

1. 委員の補充選任報告及び新委員の紹介

議 事

1. 議席の一部変更の件 [決定]

1. 「北海道一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例（仮称）」の素案に関する報告聴取の件

〔子ども政策局子育て支援担当局長報告〕

質 議

1. 滝口 信喜 委員（結志）
～「北海道一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例（仮称）」の素案について
1. 中野渡 志穂 委員（公明）
～「北海道一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例（仮称）」の素案について

質 問

1. 小泉 真志 委員（民主）
～（仮称）北海道子ども基本条例素案（たたき台）等について
1. 中野渡 志穂 委員（公明）
～「こども誰でも通園制度」について

■11月25日（月） 開議 午後1時5分
散会 午後1時45分
第6委員会室
委員長 池端 英昭（民主）

議 事

1. 令和6年第4回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件
〔保健福祉部子ども応援社会推進監説明〕
1. 令和6年度政策評価（保健福祉部所管分）の結果に関する報告聴取の件
〔保健福祉部次長報告〕
1. 「（仮称）北海道子ども基本条例」及び「（仮称）北海道子ども計画」の素案に関する報告聴取の件
〔子ども政策局長報告〕

質 疑

1. 川澄 宗之介 委員（民主）
～「（仮称）北海道子ども基本条例」及び「（仮称）北海道子ども計画」の素案について

質 問

1. 中野渡 志穂 委員（公明）
～こどもの意見反映推進事業について

■12月11日（水） 開議 午後2時36分
散会 午後2時47分
第6委員会室
委員長 池端 英昭（民主）

議案審査の結果

議案第13号

北海道児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議案第14号

北海道青少年健全育成条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

議 事

1. 付託議案審査の件

質 問

1. 中野渡 志穂 委員（公明）
～先天性サイトメガロウイルス感染症について

食と観光調査特別委員会

■11月7日（木） 開議 午前10時7分
散会 午前10時39分
第5委員会室
委員長 中川 浩利（民主）

開議前

1. 委員の補充選任報告及び新委員の紹介

議 事

1. 議席の一部変更の件 [決定]
1. 食の安全・安心に係る通報等の状況に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]
1. 高病原性鳥インフルエンザへの対応に関する報告聴取の件
〔食の安全・みどりの農業推進局長報告〕

質 疑

1. 阿知良 寛美 委員（公明）
～高病原性鳥インフルエンザへの対応について

質 問

1. 今津 寛史 委員（自民）
～北海道民向け宿泊料金割引等の実施について
1. 滝口 直人 議員（自民）
～全国菓子大博覧会・北海道の開催について

■11月25日（月） 開議 午後1時8分
散会 午後1時52分
第5委員会室
委員長 中川 浩利（民主）

議 事

1. 観光振興を目的とした新税に関する宿泊者アンケート及び宿泊事業者アンケート実施結果に関する報告聴取の件

[観光局観光事業担当局長報告]

1. 北海道宿泊税条例案に関する報告聴取の件

[経済部観光振興監報告]

1. 北海道クリーン農業推進計画（素案）に関する報告聴取の件

[食の安全・みどりの農業推進局長報告]

1. 高病原性鳥インフルエンザへの対応に関する報告聴取の件

[食の安全・みどりの農業推進局長報告]

1. 北海道食の輸出拡大戦略＜第Ⅲ期＞改訂版（素案）に関する報告聴取の件

[食関連産業局長報告]

質 問

1. 今津 寛史 委員（自民）
～有機農業の推進について
1. 北口 雄幸 委員（民主）
～全国菓子大博覧会について
1. 千葉 真裕 委員（自民）
～漫画・アニメ・ゲームを契機とした誘客施策について

■12月11日（水） 開議 午後2時36分
散会 午後2時48分
第5委員会室
委員長 中川 浩利（民主）

議 事

1. 「令和6年度第1四半期観光入込客数調査」の概要に関する報告聴取の件 [観光局長報告]

質 問

1. 今津 寛史 委員（自民）
～食品ロス削減について
1. 北口 雄幸 委員（民主）
～北海道宿泊税条例案について（意見）

北海道地方路線問題調査特別委員会

■11月7日（木） 開議 午後1時12分
散会 午後2時35分
第4委員会室
委員長 喜多 龍一（自民）

開議前

1. 委員の議員辞職報告

議 事

1. 議席の一部変更の件 [決定]

1. 黄線区における「実行計画」に関する報告聴取の件 [交通政策局鉄道担当局長報告]

質 疑

1. 桐木 茂雄 委員（自民）
～黄線区における「実行計画」について
1. 赤根 広介 委員（結志）
～黄線区における「実行計画」について
1. 真下 紀子 議員（共産）
～黄線区における「実行計画」について

質 問

1. 小泉 真志 委員（民主）
～J R北海道運賃改定について

■11月25日（月） 開議 午後2時25分
散会 午後2時58分
第4委員会室
委員長 喜多 龍一（自民）

議 事

1. J R北海道社長と知事との意見交換に関する報告聴取の件 [交通政策局鉄道担当局長報告]

質 疑

1. 赤根 広介 委員（結志）
～J R北海道社長と知事との意見交換について
1. 真下 紀子 委員外議員（共産）
～J R北海道社長と知事との意見交換について

■12月11日（水） 開議 午後5時45分
散会 午後6時30分
第4委員会室
委員長 喜多 龍一（自民）

議 事

1. 委員会調査報告書の決定の件 [決定]
1. 委員会の調査終了の件 [決定]

質 疑

1. 菅原 和忠 委員（民主）
～委員会調査報告書について
1. 小泉 真志 委員（民主）
～委員会調査報告書について
1. 沖田 清志 委員（民主）
～委員会調査報告書について

予算特別委員会

■12月3日（火） 開会 午後4時50分
散会 午後4時59分
第1委員会室
委員長 道見 泰憲（自民）

- ① 委員長に道見泰憲委員（自民）、副委員長に畠山みのり委員（民主）を選出。
- ② 付託議案に対する審査方法について、2分科会を設置、質疑を行うこととし、第1分科会は委員13人、所管は総務部、総合政策部、環境生活部、保健福祉部、出納局、企業局、道立病院局、選挙管理委員会、人事委員会、公安委員会及び監査委員、第2分科会は委員13人、所管は経済部、農政部、水産林務部、建設部、教育委員会、労働委員会、収用委員会、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会とすることに決定。
各分科会に付託する議案は、別紙付託議案一覧のとおりとすることに決定。
各分科会において保留となった事項については、本委員会において総括質疑を行うことに決定。
- ③ 分科委員の選任について、各分科会の委員は、別紙分科委員名簿のとおりとすることに決定。

○第1分科会（委員13人）

清水 敬弘（民主）	板谷よしひさ（自民）
伊東 尚悟（自民）	戸田 安彦（自民）
藤井 辰吉（自民）	海野 真樹（公明）
川澄宗之介（民主）	滝口 直人（自民）
内田 尊之（自民）	中川 浩利（民主）
畠山みのり（民主）	赤根 広介（結志）
村田 憲俊（自民）	

○第2分科会（委員13人）

今津 寛史（自民）	前田 一男（自民）
鈴木 仁志（民主）	丸山はるみ（共産）
小泉 真志（民主）	村田 光成（自民）
太田 憲之（自民）	久保秋雄太（自民）
白川 祥二（結志）	荒当 聖吾（公明）
梶谷 大志（民主）	三好 雅（自民）
喜多 龍一（自民）	

- ④ 分科委員長及び分科副委員長について、各分科会は、分科委員長及び分科副委員長各1人を選任することに決定。
- ⑤ 審査日程について、別紙日程表により行うことに決定。なお、各分科会の1日の質疑・質問時間は2時間45分を基本とし、また、午前、午後の別があるときは、午前1時間、午後1時間45分を基本とすることに決定。
- ⑥ 質疑・質問の方法等について、通告の形式により行うこと、発言の順位は本会議における一般質問に準じることに決定。
- ⑦ 議席について、別紙議席表のとおりとすることに決定。
- ⑧ 理事会の設置について、本委員会の運営に当たって、正・副委員長、各分科会の正・副委員長及び分科会正・副委員長の配分のない会派から1人の理事をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することに決定。なお、諸派についても理事会に出席願うこととし、委員長の許可を得て発言することができるものとすることに決定。
理事に、内田尊之委員（自民）、久保秋雄太委員（自民）、川澄宗之介委員（民主）、小泉真志委員（民主）、白川祥二委員（結志）、荒当聖吾委員（公明）を選出。
- ⑨ 委員の異動等について、申出は原則、当日の理事会開催前までに提出することとし、委員の交代は議長の辞任許可及び補充指名を受けること、分科委員の所属変更は、委員長の承認を受けることに決定。
- ⑩ 委員外議員の発言の取扱いについて、発言の申し出があった場合には、委員会に諮り決定することとし、発言を許可する場合は、委員の質疑・質問終了後の発言とすることに決定。

第1分科会

■12月3日（火） 開会 午後5時1分
散会 午後5時9分
第1委員会室
第1分科委員長
内田 尊之（自民）

- ① 分科委員長に内田尊之委員（自民）、分科副委員長に川澄宗之介委員（民主）を選出。
- ② 付託議案、審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、滝口直人委員（自民）、清水敬弘委員（民主）、赤根広介委員（結志）、海野真樹委員（公明）を選出。

■12月5日（木） 開議 午前10時
散会 午後5時17分
第2委員会室
第1分科委員長
内田 尊之（自民）

- ① 企業局所管に対する質疑に入り、
藤井 辰吉 委員（自民）から、
1 企業局の経営について
等について質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者他から
答弁があつて、企業局所管に関する質疑を終結。

- ② 保健福祉部所管に対する質疑に入り、
藤井 辰吉 委員（自民）から、
1 子ども施策について
2 福祉施策について
等について
清水 敬弘 委員（民主）から、
1 子どもの居場所づくりについて
2 しょうがい者を支える体制づくりについて
等について

- 板谷 よしひさ 委員（自民）から、
- 1 感染症対策について
 - 2 地域医療について
- 等について

- 川澄 宗之介 委員（民主）から、
- 1 （仮称）北海道こども基本条例について
- 等について

- 檜垣 尚子 委員（自民）から、
- 1 HPVワクチンについて
 - 2 ワンヘルスについて
 - 3 ギャンブル等依存症対策の推進について
- 等について

赤根 広介 委員（結志）から、

- 1 札幌医科大学との連携について
- 2 認知症対策について
- 3 子ども政策について
- 4 医療的ケア児について
- 5 防災対策について

等について

海野 真樹 委員（公明）から、

- 1 条例制定等における子ども政策の展開について
- 2 次期「北海道新型インフルエンザ等対策行動計画」について
- 3 医師の地域偏在について
- 4 難聴支援について

等について

畠山 みのり 委員（民主）から、

- 1 しょうがいのある方への配慮と情報保障について
 - 2 母乳バンクとドナーミルクについて
- 等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長兼感染症
対策監他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、
保健福祉部所管に関する質疑を終結。

■12月6日（金） 開議 午前10時
散会 午後4時32分
第2委員会室
第1分科委員長
内田 尊之（自民）

- ① 環境生活部所管に対する質疑に入り、
戸田 安彦 委員（自民）から、
1 野生鳥獣対策について
- 2 消費生活基本計画について
- 3 環境政策の推進について

等について

清水 敬弘 委員（民主）から、

- 1 相互理解に基づくヒグマ対策の在り方などについて

等について

海野 真樹 委員（公明）から、

- 1 縄文世界遺産の活用について
- 等について

川澄 宗之介 委員（民主） から、

- 1 自転車ヘルメットについて
- 2 しょうがい者スポーツ等について

島山 みのり 委員（民主） から、

- 1 北海道立オホーツク流氷科学センターについて
- 等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、環境生活部所管に関する質疑を終結。

② **総合政策部所管に対する質疑**に入り、
伊東 尚悟 委員（自民） から、

- 1 人口減少問題について
 - 2 地域交通の維持確保について
 - 3 海外との経済交流について
- 等について

清水 敬弘 委員（民主） から、

- 1 北海道新幹線整備に係る発生土の受入れ地の対応などについて
 - 2 北海道創生総合戦略並びに地域振興条例について
- 等について

赤根 広介 委員（結志） から、

- 1 道総研の次期中期目標について
 - 2 交通政策について
- 等について

川澄 宗之介 委員（民主） から、

- 1 地方創生等について
 - 2 交通政策等について
- 等について

海野 真樹 委員（公明） から、

- 1 道内空港における国際線の運航について
 - 2 航空の脱炭素化について
 - 3 地域交通について
 - 4 北海道の未来に向けた戦略展開について
- 等について

中川 浩利 委員（民主） から、

- 1 世界と北海道をつなぐ環境づくりについて
- 等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長兼地域振興監他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、総合政策部所管に関する質疑を終結。

■12月9日（月） 開議 午後1時
閉会 午後4時38分
第2委員会室
第1分科委員長
内田 尊之（自民）

① **総務部所管に対する質疑**に入り、
滝口 直人 委員（自民） から、

- 1 北海道宿泊税条例案について
 - 2 人事施策について
- 等について

川澄 宗之介 委員（民主） から、

- 1 原子力防災計画等について
 - 2 防災対策等について
- 等について

板谷 よしひさ 委員（自民） から、

- 1 契約事務の一斉点検について
 - 2 道業務のデジタル化の推進について
 - 3 ファシリティマネジメント推進方針の見直しについて
 - 4 庁舎セキュリティ確保について
 - 5 歴史的建造物に関する記録の保存について
- 等について

中川 浩利 委員（民主） から、

- 1 北海道宿泊税条例について
- 等について

赤根 広介 委員（結志） から、

- 1 地方税について
- 2 札幌医科大学について
- 3 防災・減災対策について

等について質疑、意見及び要望があり、総務部職員監他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、総務部所管に関する質疑を終結。

第2分科会

■12月3日（火） 開会 午後5時1分
散会 午後5時8分
第3委員会室
第2分科委員長
久保秋 雄太（自民）

- ① 分科委員長に久保秋雄太委員（自民）、分科副委員長に小泉真志委員（民主）を選出。
- ② 付託議案、審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、村田光成委員（自民）、鈴木仁志委員（民主）、白川祥二委員（結志）、荒当聖吾委員（公明）を選出。

■12月5日（木） 開議 午前10時
散会 午後5時59分
第3委員会室
第2分科委員長
久保秋 雄太（自民）

- ① 建設部所管に対する質疑に入り、
三好 雅 委員（自民） から、
 - 1 建築物省エネ法及び建築基準法の改正について
 - 2 建設工事従事者の安全等の確保について等について
鈴木 仁志 委員（民主） から、
 - 1 道路施設の老朽化について
 - 2 治水対策について等について
今津 寛史 委員（自民） から、
 - 1 道道美唄富良野線について
 - 2 道道芦別美瑛線について等について
白川 祥二 委員（結志） から、
 - 1 住宅政策について
 - 2 老朽トンネルについて等について
丸山 はるみ 委員（共産） から、
 - 1 道立公園について
 - 2 住宅政策について等について
山崎 真由美 議員（維新） から、
 - 1 無電柱化の取組について等について質疑、意見及び要望があり、建設部長他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、建設部所管に関する質疑を終結。

- ② 水産林務部所管に対する質疑に入り、
今津 寛史 委員（自民） から、
 - 1 造林作業の省力化について
 - 2 木育の推進について
 - 3 海業の推進について
 - 4 漁業の担い手対策について
 - 5 太平洋クロマグロの資源管理について等について
梶谷 大志 委員（民主） から、
 - 1 水産業の振興について
 - 2 林業・木材産業の振興について等について
前田 一男 委員（自民） から、
 - 1 東京電力の賠償について
 - 2 ホタテ養殖の安定化に向けた取組について等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長他から答弁があつて、水産林務部所管に関する質疑を終結。
- ③ 農政部所管に対する質疑に入り、
村田 光成 委員（自民） から、
 - 1 米の安定的な生産について
 - 2 畑作振興について
 - 3 農業農村整備の推進について
 - 4 家畜衛生対策について
 - 5 ホッカイドウ競馬について等について
小泉 真志 委員（民主） から、
 - 1 米政策について
 - 2 酪農振興について
 - 3 持続可能な農業について等について
白川 祥二 委員（結志） から、
 - 1 食料・農業・農村基本計画について
 - 2 スマート農業について
 - 3 有機牧草の交付金について等について
荒当 聖吾 委員（公明） から、
 - 1 農業の雇用労働力の確保について
 - 2 循環型農業の推進について
 - 3 高病原性鳥インフルエンザについて等について質疑、意見及び要望があり、農政部長他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、農政部所管に関する質疑を終結。

■12月6日(金) 開議 午前10時1分
散会 午後5時42分
第3委員会室
第2分科委員長
久保秋 雄太(自民)

① 経済部所管に対する質疑に入り、

太田 憲之 委員(自民)から、

- 1 宿泊税について
- 2 G X金融・資産運用特区について
- 3 G X関連産業税制優遇について
- 4 産業振興等について
- 5 中小・小規模事業者に対する支援の在り方について
- 6 食の輸出拡大について

等について

鈴木 仁志 委員(民主)から、

- 1 物価高騰対策について
- 2 宿泊税について
- 3 高レベル放射性廃棄物の最終処分場選定に向けた文献調査報告書について

等について

今津 寛史 委員(自民)から、

- 1 中小・小規模企業の支援施策の執行について
- 2 宇宙産業について
- 3 地域と共生したG X・再エネについて

等について

白川 祥二 委員(結志)から、

- 1 宿泊税について
- 2 G X金融・資産運用特区について
- 3 エネルギー政策について
- 4 苫小牧東部地域について
- 5 中小企業対策について

等について

前田 一男 委員(自民)から、

- 1 本道における電力の需給バランスについて
- 2 半導体産業の振興について
- 3 本道経済の課題と対策について

等について

荒当 聖吾 委員(公明)から、

- 1 経済対策について
- 2 半導体関連産業の振興について
- 3 宿泊税について

等について

真下 紀子 委員(共産)から、

- 1 G X金融・資産運用特区等について
- 2 観光振興の在り方等について

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、経済部所管に関する質疑を終結。

② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

村田 光成 委員(自民)から、

- 1 学校における働き方改革について
- 2 教員確保について
- 3 学校施設の長寿命化について

等について

小泉 真志 委員(民主)から、

- 1 教員の確保について
 - 2 カスタマーハラスメント防止対策について
- 等について質疑、意見及び要望があり、教育長他から答弁があって、議事進行の都合により散会。

■12月9日(月) 開議 午後1時
閉会 午後4時49分
第3委員会室
第2分科委員長
久保秋 雄太(自民)

① 教育委員会所管に対する質疑を継続し、

前田 一男 委員(自民)から、

- 1 特別支援学校の寄宿舎の空調設備について
- 2 学習障がいについて
- 3 いじめ・不登校対策について
- 4 I C Tの危険性について
- 5 教科書採択について

等について

梶谷 大志 委員(民主)から、

- 1 知事公館・近代美術館エリア等について

等について

檜垣 尚子 委員(自民)から、

- 1 遠隔授業配信センターについて
- 2 日本語指導が必要な児童生徒への教育について

等について

滝口 信喜 委員(結志)から、

- 1 定時制課程について

等について

荒当 聖吾 委員（公明） から、

- 1 不登校児童生徒への対応について
- 2 道立高校の多様なニーズに対応した質の高い学びの実現について

等について

丸山 はるみ 委員（共産） から、

- 1 いじめ・不登校への対応について
- 2 冷房設備設置等について
- 3 校則の見直しについて

等について

山崎 真由美 議員（維新） から、

- 1 全国中学校体育大会について
- 2 学校における競技大会への協力体制について
- 3 デートDV防止教育について

等について質疑、意見及び要望があり、教育長他から答弁があつて、教育委員会所管に関する質疑を終結。

- 6 （仮称）北海道こども基本条例について
- 7 しょうがい者を支える体制づくりについて
- 8 高レベル放射性廃棄物の最終処分場選定に向けた文献調査報告書について
- 9 相互理解に基づくヒグマ対策の在り方などについて
- 10 持続可能な農業について

等について

赤根 広介 委員（結志） から、

- 1 子ども政策について
- 2 札幌医科大学について
- 3 防災・減災対策について
- 4 交通政策について
- 5 宿泊税について

等について

荒当 聖吾 委員（公明） から、

- 1 道内空港における国際線の運航について
- 2 航空の脱炭素化について
- 3 地域交通について
- 4 経済対策について
- 5 宿泊税について
- 6 高病原性鳥インフルエンザについて

等について

丸山 はるみ 委員（共産） から、

- 1 観光振興の在り方等について
- 2 住宅政策について

等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があつて、総括質疑を終結。

予算特別委員会

■12月10日（火） 開議 午前10時
閉会 午後6時6分
第1委員会室
委員長 道見 泰憲（自民）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

- ② 各分科会において保留された事項について、

知事に対する総括質疑に入り、

三好 雅 委員（自民） から、

- 1 庁舎のセキュリティ確保について
- 2 建築物省エネ法及び建築基準法の改正について
- 3 環境政策の推進について
- 4 GX関連産業税制優遇について
- 5 宿泊税について

等について

小泉 真志 委員（民主） から、

- 1 地方創生等について
- 2 北海道創生総合戦略並びに地域振興条例について
- 3 物価高騰対策について
- 4 宿泊税について
- 5 子どもの居場所づくりについて

- ③ 付託議案に対する意見調整は、理事会で行うことに決定。

- ④ 理事会において付託議案に対する意見調整の結果、議案第1号、第2号、第21号、第32号ないし第36号及び報告第1号を原案のとおり可決することを諮り、いずれも異議なく決定。

- ⑤ 付託議案に対する委員長報告文については、委員長に一任することに決定。

- ⑥ 委員長から、付託議案に対する審議終了の挨拶があつて閉会。

決算特別委員会

■ 9月25日（水） 開会 午後6時5分
散会 午後6時12分
第1委員会室
委員長 桐木 茂雄（自民）

- ① 委員長に桐木茂雄委員（自民）、副委員長に北口雄幸委員（民主）を選出。
- ② 付託議案に対する審査方法について、企業会計決算審査については、本委員会で審査を行うこと、普通会計決算審査については、2分科会を設置、質疑を行うこととし、第1分科会は委員13人、所管は総務部、総合政策部、環境生活部、保健福祉部、人事委員会、公安委員会、出納局及び監査委員、第2分科会は委員13人、所管は経済部、農政部、水産林務部、建設部及び教育委員会とすることに決定。ただし、選挙管理委員会は総合政策部に、労働委員会は経済部に、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会は水産林務部に、収用委員会は建設部に含めるものとするに決定。

各分科会に付託する議案は、別紙付託議案一覧のとおりとすることに決定。

企業会計及び各分科会において保留となった事項については、本委員会において総括質疑を行うことに決定。

- ③ 分科委員の選任について、各分科会の委員は、別紙分科委員名簿のとおりとすることに決定。

○第1分科会（委員13人）

清水 敬弘（民主）	黒田 栄継（自民）
鶴羽芳代子（自民）	藤井 辰吉（自民）
丸山はるみ（共産）	水口 典一（結志）
宮崎アカネ（民主）	宮下 准一（自民）
丸岩 浩二（自民）	中川 浩利（民主）
森 成之（公明）	花崎 勝（自民）
吉田 正人（自民）	

○第2分科会（委員13人）

木下 雅之（自民）	千葉 真裕（自民）
和田 敬太（自民）	田中 勝一（民主）
渕上 綾子（民主）	山根まさひろ（民主）
渡邊 靖司（自民）	大越 農子（自民）

久保秋雄太（自民）	新沼 透（結志）
田中 英樹（公明）	北口 雄幸（民主）
松浦 宗信（自民）	

- ④ 分科委員長及び分科副委員長について、各分科会は、分科委員長及び分科副委員長各1人を選任することに決定。
- ⑤ 質疑の方法等について、通告の形式により行うこと、発言の順位は本会議における一般質問に準じることに決定。
- ⑥ 議席について、別紙議席表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 理事会の設置について、本委員会の運営に当たって、正・副委員長、各分科会の正・副委員長及び分科会正・副委員長の配分のない会派から1人の理事をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することに決定。なお、諸派についても理事会に出席願うこととし、委員長の許可を得て発言することができるものとするに決定。

理事に、丸岩浩二委員（自民）、大越農子委員（自民）、山根まさひろ委員（民主）、宮崎アカネ委員（民主）、水口典一委員（結志）、田中英樹委員（公明）を選出。

- ⑧ 委員の異動等について、委員の交代は原則として認めないこと、分科委員の所属変更は、申出は原則として当日の理事会開催前までに提出し、委員長の承認を受けることに決定。
- ⑨ 委員外委員の発言の取扱いについて、発言の申し出があった場合には、委員会に諮り決定することとし、発言を許可する場合は、委員の質疑・質問終了後の発言とすることに決定。
- ⑩ 資料要求については、理事会において検討し、委員会の決定により行うことに決定。

■ 10月3日（木） 開議 午後2時31分
散会 午後2時58分
第1委員会室
委員長 桐木 茂雄（自民）

- ① 決算概要並びに決算審査意見に関する説明聴取について、総務部長、建設部長、公営企業管理者及び病院事業管理者から決算概要について、代表監査委員から決算審査意見について説明。

- ② 決算審査のために必要な資料要求について、配付の項目により要求することに決定。
- ③ 審査日程及び質疑の方法等について、別紙のとおりとすることに決定。
- ④ 書面審査会の実施について、書面審査室は、第2委員会室に設置し、使用時間は、午前10時から午後5時までとすることに決定。
- 書面審査の方法は、従前の例により、決算法定書類、証拠書類及び委員会要求に係る提出資料の閲覧並びに関係部局からの説明聴取により行うことに決定。
- 書面審査室備付資料の室外への持ち出し及び撮影は禁止することに決定。
- ⑤ 閉会中継続審査申出について、報告第1号ないし第6号を行うことに決定。
- ⑥ 委員会への出席説明員の範囲について、総務部長、建設部長、企業局長、道立病院部長、会計管理者兼出納局長及び監査委員事務局長とすることに決定。

■11月8日（金） 開議 午前10時
散会 午後5時30分
第1委員会室
委員長 桐木 茂雄（自民）

- ① 10月3日の委員会決定に基づく要求資料の提出が、10月15日にあったことを報告。
- ② **建設部所管（企業会計）に対する質疑**に入り、
花崎 勝 委員（自民）から、
- 1 下水道事業会計について
- 等について
- 淵上 綾子 委員（民主）**から、
- 1 下水道事業について
- 等について質疑、意見及び要望があり、建設部長他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、建設部所管に対する質疑を終結。

- ③ **企業局所管（企業会計）に対する質疑**に入り、
花崎 勝 委員（自民）から、
- 1 電気事業会計について
- 2 工業用水道事業会計について
- 等について
- 淵上 綾子 委員（民主）**から、
- 1 工業用水道事業会計について

- 2 電気事業会計について
- 等について

新沼 透 委員（結志）から、

- 1 工業用水道事業会計について
- 2 電気事業会計について
- 等について

丸山 はるみ 委員（共産）から、

- 1 電気事業会計について
- 2 工業用水道事業会計について

等について質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者他から答弁があつて、企業局所管に対する質疑を終結。

- ④ **道立病院局所管（企業会計）に対する質疑**に入り、

黒田 栄継 委員（自民）から、

- 1 病院事業会計について
- 等について

山根 まさひろ 委員（民主）から、

- 1 病院事業会計について
- 等について

水口 典一 委員（結志）から、

- 1 病院事業会計について
- 等について

丸山 はるみ 委員（共産）から、

- 1 病院事業会計について

等について質疑、意見及び要望があり、病院事業管理者他から答弁があつて、道立病院局所管に対する質疑を終結。

第1分科会

■9月25日（水） 開会 午後6時15分
散会 午後6時22分
第1委員会室
第1分科委員長
丸岩 浩二（自民）

- ① 分科委員長に丸岩浩二委員（自民）、分科副委員長に宮崎アカネ委員（民主）を選出。
- ② 審査の方法、審査日程、質疑の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱い、議席、次回分科会の開催予定について決定。
- 理事に、宮下准一委員（自民）、清水敬弘委員

(民主)、水口典一委員(結志)、森成之委員(公明)を選出。

■10月3日(木) 開議 午後3時3分
散会 午後3時4分
第1委員会室
第1分科委員長
丸岩 浩二(自民)

① 配付の資料のとおり付託議件の審査日程及び質疑の方法等を決定。

■11月11日(月) 開議 午前10時
散会 午後5時11分
第2委員会室
第1分科委員長
丸岩 浩二(自民)

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、
宮下 准一 委員(自民)から、

1 交通安全施設整備について

等について質疑、意見及び要望があり、交通部長他から答弁があつて、公安委員会所管に関する質疑を終結。

② 保健福祉部所管に対する質疑に入り、
鶴羽 芳代子 委員(自民)から、

1 地域医療について

2 感染症対策について

3 児童福祉・母子保健対策について

等について

清水 敬弘 委員(民主)から、

1 旧優生保護法について

等について

藤井 辰吉 委員(自民)から、

1 障がい者支援について

2 地域福祉について

3 保健福祉部における内部統制評価結果について

等について

宮崎 アカネ 委員(民主)から、

1 地域医療について

2 新型インフルエンザ対策について

等について

水口 典一 委員(結志)から、

1 子ども応援社会の推進について

2 重度心身障がい者医療給付事業について

3 介護人材の担い手確保について

4 医療の担い手確保について

5 障がい者ピアサポーター養成事業について

6 重層的支援体制整備事業について

等について

森 成之 委員(公明)から、

1 地域医療について

2 ドクターヘリについて

3 メディカルウイングについて

4 介護人材の確保について

5 子どもの貧困対策について

等について

中川 浩利 委員(民主)から、

1 内部統制評価報告書における重大な不備事案について

2 新型コロナ対策に係る交付金について

等について

丸山 はるみ 委員(共産)から、

1 国民健康保険とマイナ保険証について

2 生活保護について

3 子育て支援について

等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長兼感染症対策監他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、保健福祉部所管に関する質疑を終結。

■11月12日(火) 開議 午前10時1分
散会 午後5時29分
第2委員会室
第1分科委員長
丸岩 浩二(自民)

① 環境生活部所管に対する質疑に入り、
黒田 栄継 委員(自民)から、

1 特殊詐欺対策等について

2 アイヌ文化施策の推進について

3 道立総合博物館の利活用について

4 メディア芸術の振興について

5 地域における交通安全の確保について

6 自然公園について

等について

清水 敬弘 委員（民主） から、

- 1 外来種対策について
- 2 エゾシカ対策について等について

水口 典一 委員（結志） から、

- 1 野生鳥獣対策について
- 2 動物愛護管理運営について
- 3 スポーツ振興について等について

丸山 はるみ 委員（共産） から、

- 1 性の多様性等について等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、環境生活部所管に関する質疑を終結。

② **総合政策部所管に対する質疑**に入り、

藤井 辰吉 委員（自民） から、

- 1 J R北海道について
- 2 北海道の物流について
- 3 航空政策について
- 4 地域づくり総合交付金について等について

清水 敬弘 委員（民主） から、

- 1 航空政策について等について

黒田 栄継 委員（自民） から、

- 1 関係人口創出・拡大の取組について
- 2 官民連携の推進について
- 3 多文化共生の取組について
- 4 未来技術の活用について等について

中川 浩利 委員（民主） から、

- 1 地域づくり総合交付金について等について

水口 典一 委員（結志） から、

- 1 地方創生推進交付金の返還事案について
- 2 北海道サハリン事務所について
- 3 ほっかいどう応援団会議について
- 4 北海道移住促進プロモーションについて
- 5 北海道型ワーケーション推進について
- 6 道職員における政策開発力の向上について等について

森 成之 委員（公明） から、

- 1 公共交通の利用促進について
- 2 物流問題について

3 空港問題について

4 地域づくり総合交付金について等について

丸山 はるみ 委員（共産） から、

- 1 多文化共生施策について
- 2 SDGsについて
- 3 道民意見の広聴と反映等について等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長兼地域振興監他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、総合政策部所管に関する質疑を終結。

■11月13日（水） 開議 午前10時
閉会 午後 3 時39分
第2委員会室
第1分科委員長
丸岩 浩二（自民）

① **出納局所管に対する質疑**に入り、

中川 浩利 委員（民主） から、

- 1 新型コロナ臨時交付金等の返還事案について等について

水口 典一 委員（結志） から、

- 1 新型コロナ臨時交付金等の返還事案について等について質疑、意見及び要望があり、会計管理者兼出納局長他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、出納局所管に関する質疑を終結。

② **監査委員所管に対する質疑**に入り、

丸山 はるみ 委員（共産） から、

- 1 監査の在り方等について等について質疑、意見及び要望があり、代表監査委員他から答弁があって、監査委員所管に関する質疑を終結。

③ **総務部所管に対する質疑**に入り、

鶴羽 芳代子 委員（自民） から、

- 1 指定管理者制度について
- 2 会計年度任用職員の処遇について
- 3 財政運営について
- 4 新型コロナ臨時交付金等の返還事案について等について

宮崎 アカネ 委員（民主） から、

- 1 防災対策について等について

宮下 准一 委員（自民） から、

- 1 防災対策について
- 2 未利用地の活用について
- 3 職員の時間外勤務について
- 4 職員の歯科健診について

等について

中川 浩利 委員（民主） から、

- 1 財政運営について
- 2 新型コロナ臨時交付金等の返還事案について

等について

黒田 栄継 委員（自民） から、

- 1 北方領土返還要求運動について

等について

水口 典一 委員（結志） から、

- 1 行財政運営について

等について

森 成之 委員（公明） から、

- 1 災害対策等について

等について

丸山 はるみ 委員（共産） から、

- 1 会計年度任用職員について

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、総務部所管に関する質疑を終結。

第 2 分 科 会

■ 9 月 25 日（水） 開会 午後 6 時 15 分
散会 午後 6 時 22 分
第 3 委員会室
第 2 分科委員長
大越 農子（自民）

- ① 分科委員長に大越農子委員（自民）、分科副委員長に山根まさひろ委員（民主）を選出。
- ② 審査の方法、審査日程、質疑の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱い、議席、次回分科会の開催予定について決定。

理事に、渡邊靖司委員（自民）、田中勝一委員（民主）、新沼透委員（結志）、田中英樹委員（公明）を選出。

■ 10 月 3 日（木） 開議 午後 3 時 4 分
散会 午後 3 時 5 分
第 3 委員会室
第 2 分科委員長
大越 農子（自民）

- ① 配付の資料のとおり付託議件の審査日程及び質疑の方法等を決定。

■ 11 月 11 日（月） 開議 午前 10 時 2 分
散会 午後 4 時 20 分
第 3 委員会室
第 2 分科委員長
大越 農子（自民）

- ① 建設部所管に対する質疑に入り、

千葉 真裕 委員（自民） から、

- 1 既存住宅のリフォーム促進等について
- 2 建設産業における人材確保対策について
- 3 道路施設の老朽化対策について

等について

田中 勝一 委員（民主） から、

- 1 河川の維持管理について
- 2 道路の除排雪経費について

等について

木下 雅之 委員（自民） から、

- 1 除排雪について

等について

淵上 綾子 委員（民主） から、

- 1 公共事業の発注について
- 2 協力雇用主について
- 3 ゼロカーボンの推進について
- 4 建設管理費について
- 5 道営住宅について
- 6 宅地建物取引業について

等について

新沼 透 委員（結志） から、

- 1 建設産業における担い手不足対策について
- 等について質疑、意見及び要望があり、建設部長他から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、建設部所管に関する質疑を終結。

- ② 水産林務部所管に対する質疑に入り、

木下 雅之 委員（自民） から、

- 1 赤潮による被害対策について
 - 2 養殖業の推進について
 - 3 A L P S 処理水放出後における道産水産物の消費拡大について
 - 4 道産建築材の活用促進について
 - 5 森林土木工事における I C T の活用について
 - 6 胆振東部地震で被災した森林の再生について
 - 7 担い手の育成・確保について
- 等について

山根 まさひろ 委員（民主） から、

- 1 水産物禁輸措置を受けた取組について
 - 2 道内漁港の老朽化・耐震化対策について
 - 3 物価高騰対策（水産林務関係）の執行状況について
 - 4 森林環境譲与税について
 - 5 担い手育成について
- 等について

千葉 真裕 委員（自民） から、

- 1 本道の豊かな海づくりについて
- 等について

新沼 透 委員（結志） から、

- 1 森林整備の担い手対策について
- 2 遊漁対策について
- 3 アキサケ資源対策について

等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、水産林務部所管に関する質疑を終結。

■11月12日（火） 開議 午前10時3分
散会 午後4時59分
第3委員会室
第2分科委員長
大越 農子（自民）

① 農政部所管に対する質疑に入り、

和田 敬太 委員（自民） から、

- 1 物価高騰対策について
 - 2 高病原性鳥インフルエンザ対策について
 - 3 産地生産基盤パワーアップ事業について
 - 4 多面的機能支払交付金について
 - 5 農地利用効率化等支援事業について
 - 6 新顔作物の振興について
- 等について

田中 勝一 委員（民主） から、

- 1 米政策について
 - 2 畜産振興について
 - 3 新顔作物の普及に向けた取組について
 - 4 食育推進について
 - 5 道営競馬事業について
- 等について

新沼 透 委員（結志） から、

- 1 酪農対策について
 - 2 エゾシカなどによる農作物被害防止対策について
- 等について

北口 雄幸 委員（民主） から、

- 1 担い手対策について
 - 2 酪農振興について
- 等について

田中 英樹 委員（公明） から、

- 1 農地バンク事業について
- 2 農業農村整備事業について
- 3 食品ロス削減の推進について

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、農政部所管に関する質疑を終結。

② 経済部所管に対する質疑に入り、

渡邊 靖司 委員（自民） から、

- 1 G X ・ D X の推進について
 - 2 食と観光の推進について
 - 3 地域産業の振興について
- 等について

淵上 綾子 委員（民主） から、

- 1 価格高騰等対策について
 - 2 各種支援金・補助金等について
 - 3 中小企業の経営安定化のための支援について
 - 4 企業立地への支援について
 - 5 観光施策について
- 等について

千葉 真裕 委員（自民） から、

- 1 労働政策について
 - 2 ゼロカーボン北海道関連施策について
- 等について

山根 まさひろ 委員（民主） から、

- 1 人材確保の取組について
- 2 物価高騰対策について

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長他から答弁が

あって、議事進行の都合により散会。

■11月13日（水） 開議 午前10時1分
閉会 午後3時31分
第3委員会室
第2分科委員長
大越 農子（自民）

① 経済部所管に対する質疑を継続し、

新沼 透 委員（結志）から、

- 1 地域活性化雇用創造プロジェクトについて
- 2 高等技術専門学院について

等について

田中 英樹 委員（公明）から、

- 1 経済対策について
- 2 デジタル関連産業の振興について
- 3 G X金融・資産運用特区について
- 4 人材確保について
- 5 食関連産業の振興について

等について

北口 雄幸 委員（民主）から、

- 1 北海道地球温暖化防止対策基金について
- 2 再生可能エネルギーの普及拡大と理解促進について

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長他から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、経済部所管に関する質疑を終結。

② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

木下 雅之 委員（自民）から、

- 1 学校における働き方改革について
- 2 障がい者の生涯学習支援について
- 3 ふるさとの自然や歴史、文化等に関する教育の充実について

等について

田中 勝一 委員（民主）から、

- 1 学校環境の整備について
- 2 部活動について

等について

和田 敬太 委員（自民）から、

- 1 ヤングケアラー支援について
- 2 道立学校教育活動応援事業について
- 3 I C T活用の支援について
- 4 道立青少年体験活動支援施設の運営について

等について

新沼 透 委員（結志）から、

- 1 北海道における高校づくりについて
- 等について

田中 英樹 委員（公明）から、

- 1 学校における I C T環境について
- 2 地域を支える人材の育成について

等について質疑、意見及び要望があり、教育長他から答弁があって、教育委員会所管に関する質疑を終結。

決算特別委員会

■11月14日（木） 開議 午前10時1分
閉会 午後3時48分
第1委員会室
委員長 桐木 茂雄（自民）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② 本委員会及び各分科会において保留された事項について、**知事に対する総括質疑**に入り、

花崎 勝 委員（自民）から、

- 1 指定管理者制度について
 - 2 J R北海道について
 - 3 下水道事業会計について
 - 4 高病原性鳥インフルエンザ対策について
 - 5 本道の豊かな海づくりについて
 - 6 地域産業の振興について
 - 7 財政運営について
 - 8 新型コロナ臨時交付金等の返還事案について
- 等について

宮崎 アカネ 委員（民主）から、

- 1 財政運営について
 - 2 新型コロナ臨時交付金等の返還事案について
 - 3 地域づくり総合交付金について
 - 4 地域医療について
 - 5 物価高騰対策について
 - 6 公共事業の発注について
 - 7 道営住宅について
 - 8 水産物禁輸措置を受けた取組について
- 等について

水口 典一 委員（結志）から、

- 1 地域活性化雇用創造プロジェクトについて

- 2 高等技術専門学院について
- 3 新型コロナ臨時交付金等の返還事案について
等について

田中 英樹 委員（公明） から、

- 1 経済対策について

等について

丸山 はるみ 委員（共産） から、

- 1 子育て支援について
- 2 性の多様性等について
- 3 道民意見の公聴と反映等について

等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があつて、
総括質疑を終結。

- ③ 付託議案に対する意見調整は、理事会で行う
ことに決定。

- ④ 理事会において付託議案に対する意見調整の
結果、報告第1号、第2号、第4号及び第5号
については、意見の一致を見るに至らなかった
旨の報告の後、討論に入り、丸山はるみ委員（共
産）から反対討論があつて討論終結。

採決に入り、報告第1号、第2号、第4号及
び第5号を問題とし、起立採決の結果、起立多
数によりいずれも認定議決とすることに決定。

報告第3号及び第6号を問題とし、いずれも
認定議決とすることに異議なく決定。

- ⑤ 付託議案に対する委員長報告文については、
委員長に一任することに決定。
- ⑥ 委員長から、付託議案に対する審議終了の挨拶があり閉会。

資 料

令和 6 年提出案件の議決状況

知事提出案件

定例会	提 出 件 数					計	議 決 件 数						報告のみ	計
	予 算	条 例	その他議案	諮 問	報 告		原案可決	承認議決	同意議決	認定議決	修正議決	継続審査		
1 定	34	63	10	—	3	110	103	—	4	—	—	—	3	110
2 定	1	8	5	—	11	25	13	1	—	—	—	—	11	25
3 定	4	7	22	—	9	42	23	—	4	—	—	6	9	42
4 定	4	21	12(6)	—	6	43(6)	35	1	—	(6)	1	—	6	43(6)
合 計	43	99	49(6)	—	29	220(6)	174	2	8	(6)	1	6	29	220(6)

注：（ ）内は継続審査に係る議決件数を示し、外数である。

議員又は委員会提出案件

定例会	提 出 件 数				計	議 決 件 数				計
	会議案	決議案	意見案	動 議		原案可決	否 決	継続審査	修正議決	
1 定	2	—	2	1	5	4	1	—	—	5
2 定	—	—	9	—	9	9	—	—	—	9
3 定	1	1	4	—	6	6	—	—	—	6
4 定	3	1	4	—	8	8	—	—	—	8
合 計	6	2	19	1	28	27	1	—	—	28

令和 6 年請願の審査状況

定例会	前会からの継続審査	新規受理	採 択	不 採 択	審議未了	議決不要	取 下 げ	継続審査
1 定	14	4	2	—	—	—	—	16
2 定	16	—	—	—	—	—	—	16
3 定	16	—	—	—	—	—	—	16
4 定	16	3	—	—	—	—	3	16
合 計		7	2	—	—	—	3	

注：議決不要、取下げの件数のうち、閉会中に処理したものは直近の定例会に含む。

令和 6 年議員又は委員会提出案件一覧

会 議 案

定例会	番号	件 名	提 出 者	提 年 月 出 日	議 年 月 決 日	議 決 状 況
1 定	1	北海道議会委員会条例の一部を改正する条例案	議会運営委員長 船橋 賢二	6. 3. 19	6. 3. 19	原案可決
1 定	2	北海道議会会議規則の一部を改正する規則案	議会運営委員長 船橋 賢二	6. 3. 19	6. 3. 19	原案可決
3 定	1	北海道水産業・漁村振興条例の一部を改正する条例案	三好 雅 議員ほか11人	6. 9. 24	6. 10. 4	原案可決
4 定	1	北海道カスタマーハラスメント防止条例案	三好 雅 議員ほか12人	6. 11. 26	6. 11. 26	原案可決
4 定	2	北海道議会会議規則の一部を改正する規則案	議会運営委員長 船橋 賢二	6. 12. 12	6. 12. 12	原案可決
4 定	3	北海道議会の会派及び議員の政務活動費に関する条例の一部を改正する条例案	三好 雅 議員ほか10人	6. 12. 12	6. 12. 12	原案可決

決 議 案

定例会	番号	件 名	提 出 者	提 年 月 出 日	議 年 月 決 日	議 決 状 況
3 定	1	ロシア機による領空侵犯に対する決議	太田 憲之 議員ほか5人	6. 9. 24	6. 9. 24	原案可決
4 定	1	特別委員会の調査事項に関する決議	三好 雅 議員ほか8人	6. 12. 12	6. 12. 12	原案可決

意 見 案

定例会	番号	件 名	提 出 者	提 年 月 出 日	議 年 月 決 日	議 決 状 況
1 定	1	朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）による日本人拉致被害者の全員帰国を果たし、拉致問題の完全解決を求める意見書	太田 憲之 議員ほか5人	6. 3. 18	6. 3. 19	原案可決
	2	根室海峡海域におけるロシア連邦トロール漁船に関する意見書	水産林務委員長 桐木 茂雄	6. 3. 18	6. 3. 19	原案可決
2 定	1	巨大災害に備える危機管理対応の体制強化を求める意見書	太田 憲之 議員ほか5人	6. 7. 4	6. 7. 5	原案可決
	2	航空機燃料の安定的な供給体制の構築を求める意見書	太田 憲之 議員ほか5人	6. 7. 4	6. 7. 5	原案可決
	3	地方財政の充実・強化に関する意見書	太田 憲之 議員ほか5人	6. 7. 4	6. 7. 5	原案可決
	4	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	水産林務委員長 桐木 茂雄	6. 7. 4	6. 7. 5	原案可決
	5	国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書	建設委員長 丸岩 浩二	6. 7. 4	6. 7. 5	原案可決
	6	義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書	文教委員長 大越 農子	6. 7. 4	6. 7. 5	原案可決

定例会	番号	件名	提出者	提出日 年 月 日	議決日 年 月 日	議決状況
2 定	7	私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書	文教委員長 大越 農子	6. 7. 4	6. 7. 5	原案可決
	8	北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の整備促進を求める意見書	新幹線・総合交通体系対策特別委員長 花崎 勝	6. 7. 4	6. 7. 5	原案可決
	9	地域における「こども誰でも通園制度」に関する意見書	子ども政策調査特別委員長 池端 英昭	6. 7. 4	6. 7. 5	原案可決
3 定	1	オンラインを活用した接見交通の実現を求める意見書	太田 憲之 議員ほか5人	6.10. 3	6.10. 4	原案可決
	2	ロシア機による領空侵犯に関する意見書	太田 憲之 議員ほか5人	6.10. 3	6.10. 4	原案可決
	3	気候変動に対応した石炭の高度利用と産炭地域振興に関する意見書	産炭地域振興・エネルギー調査特別委員長 三好 雅	6.10. 3	6.10. 4	原案可決
	4	「予防のためのこどもの死亡検証（Child Death Review）」に関する意見書	子ども政策調査特別委員長 池端 英昭	6.10. 3	6.10. 4	原案可決
4 定	1	台湾の国連気候変動枠組条約（UNFCCC）への参加を積極的に支援するよう求める意見書	太田 憲之 議員ほか4人	6.12.11	6.12.12	原案可決
	2	ヒグマ捕獲体制の強化を求める意見書	太田 憲之 議員ほか5人	6.12.11	6.12.12	原案可決
	3	国立・公立・公的医療機関の機能強化を求める意見書	保健福祉委員長 畠山 みのり	6.12.11	6.12.12	原案可決
	4	私立専修学校等における専門職業人材の育成機能の強化等を求める意見書	文教委員長 大越 農子	6.12.11	6.12.12	原案可決

動 議

定例会	件名	提出者	提出日 年 月 日	議決日 年 月 日	議決状況
1 定	議案第1号令和6年度北海道一般会計予算については撤回し、組替えの上再提出を求める動議	梶谷 大志 議員ほか4人 （賛成者 5名）	6. 3.18	6. 3.19	否 決

令和6年請願一覧

(継審＝継続審査、議不＝議決不要、不採＝不採択、取下＝取下げ)

受 理 番 号	件 名	受 理 年 月 日	付 託 年 月 日	付 託 委 員 会	審 査 結 果
1	新登別大橋への高欄設置についての件	5. 6. 13	5. 6. 22	保健福祉	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
2	特定放射性廃棄物最終処分場選定に係る概要調査に反対する決議等を求める件	5. 6. 15	5. 6. 22	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
3	北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る調査反対及び最終処分法を見直すよう国に求める件	5. 6. 15	5. 6. 22	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
4	北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る調査反対及び最終処分法見直しを求める件	5. 6. 16	5. 6. 22	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
5	北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る調査中止及び最終処分地の受入れをしないことを求める件	5. 6. 19	5. 6. 22	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
6	北海道のどこにも核のごみ（高レベル放射性廃棄物・特定放射性廃棄物）の最終処分場を設置しないよう国に求める意見書提出を求める件	5. 6. 27	5. 7. 5	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
7	地層処分・核燃料サイクル政策の見直しを国に求める決議についての件	5. 7. 21	5. 9. 12	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
8	寿都町・神恵内村で行われている特定放射性廃棄物の最終処分地選定に向けた文献調査から概要調査への移行に反対する決議を求める件	5. 7. 21	5. 9. 12	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
9	「東京電力福島第一原子力発電所で発生し、多核種除去システムにより処理された汚染水を海洋放出するとの政府方針の撤回、もしくは海洋放出の即時中止を政府に求める意見書」の提出を求める件	5. 8. 15	5. 9. 12	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
10	発電施設設置に関する北海道独自のガイドラインの作成及び条例制定を求める件	5. 9. 13	5. 9. 27	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
11	「福島第一原発のALPS処理水の海洋放出を直ちに中止し、処理水減容の抜本的対策を求める意見書」の提出を求める件	5. 11. 22	5. 11. 28	産炭地域振興・エネルギー調査	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
12	ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する件	5. 12. 1	5. 12. 5	文 教	1定継審 2定継審 3定継審 4定取下

受 理 番 号	件 名	受 理 年 月 日	付 託 年 月 日	付 託 委 員 会	審 査 結 果
13	私立学校の保護者負担を軽減するとともに教育環境の改善のための私学助成を充実することを求める件	5. 12. 1	5. 12. 5	文 教	1定継審 2定継審 3定継審 4定取下
14	私立学校生徒の学費無償化を求める件	5. 12. 1	5. 12. 5	文 教	1定継審 2定継審 3定継審 4定取下
15	「物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引上げを国に求める意見書」の提出を求める件	6. 2. 9	6. 2. 21	保健福祉	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
16	北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	6. 2. 13	6. 2. 21	文 教	1定継審 2定継審 3定継審 4定継審
17	北海道の各機関における行政書士制度への理解及び行政書士法等の順守徹底に関する件	6. 2. 16	6. 2. 21	総 務	1定採択
18	北海道の各機関における行政書士制度への理解及び行政書士法等の順守徹底に関する件	6. 2. 16	6. 2. 21	総合政策	1定採択
19	ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する件	6. 11. 29	6. 12. 3	文 教	4定継審
20	私立学校生徒の学費無償化を求める件	6. 11. 29	6. 12. 3	文 教	4定継審
21	私学の経常費及び授業料助成の増額に関する件	6. 12. 6	6. 12. 11	文 教	4定継審

北海道議会議席表

令和 6 年 11 月

自民党・道民会議
53名

民主・道民連合
27名

北海道結志会
8名

公明党
8名

日本共産党
2名

維新・大地
1名

説
明
員

説
明
員

説
明
員

説
明
員

副
知
事
知
事

説
各
種
委
員
会
員

説
明
員

説
明
員

説
明
員

説
明
員

事 務 局 職 員

議 長 事 務 局 長

演 壇

11月の出来事

- 1日 ○改正道路交通法が施行。スマホや電子機器を使いながらの自転車運転が検挙・刑事罰の対象になる。罰則は6ヶ月以下の懲役あるいは10万円以下の罰金。対人事故が起きた場合は罰則がより重くなる。酒気帯びでの自転車運転に関しても懲役3年以下・罰金50万円以下に厳罰化。また、飲食店などアルコールの提供者に対する幫助罪も新設。最大で懲役2年・罰金30万円が課される。
- 組織に属さず働くフリーランスの保護に向けた新法「フリーランス取引適正化法」が施行。フリーランスと取引する企業に対して、取引内容の明示化や期日内の報酬支払いを義務化。また、相場に比べて不当に低い報酬額での買ったたき行為を禁止する。違反した場合は公正取引委員会による指導や是正勧告の対象になる。
- 2日 ○金融庁は、国債先物取引で相場操縦を行ったとして、野村証券に対し2,176万円の課徴金を命じた。野村証券は、第三者の売買を誘い出す目的で大量の売り注文や買い注文を出して相場を操縦したと認定された。
- 3日 ○プロ野球日本シリーズの第6戦が行われ、DeNAがソフトバンクに11対2で勝って対戦成績を4勝2敗とし、26年ぶりの日本一となった。DeNAの日本一は前身の大洋、横浜時代を含めて3回目、レギュラーシーズン3位からの日本一は2010年のロッテ以来、2回目。
- 6日 ○アメリカ大統領選挙は、共和党のドナルド・トランプ候補（78歳）が、過半数となる270人以上の選挙人獲得を確実にし、女性・アジア系初の大統領を目指した民主党候補のカマラ・ハリス副大統領（60歳）を下して、振り返きを果たした。来年1月、大統領に就任する見込み。
- 11日 ○石破首相が第103代首相に任命された。与党が議席過半数を抑えておらず、立憲民主党の野田代表との決選投票が行われた。首相指名選挙の決選投票は30年ぶり史上5度目。自公両党で衆院の過半数を
持たない少数与党として発足し、予算案や重要法案の成立には野党の協力が不可欠となる。
- 15日 ○昭和天皇の弟、三笠宮崇仁親王の配偶者である百合子妃殿下が亡くなった。享年101歳。明治以降の皇室で最高齢。これにより、皇室は16名となった。
- 17日 ○パワハラ疑惑など受けた不信任決議に伴う出直し兵庫県知事選挙。斎藤知事が、111万票を獲得し再選。2位は97万票だった。斎藤知事は前回の選挙では85万票だったが、SNSを中心に無党派層の支持を伸ばした。投票率は55%で前回選挙から10%以上増加した。
- 22日 ○三菱UFJ銀行は、支店勤務だった管理職の行員が支店の貸金庫を無断で開け、10数億円の金品を盗み取っていたと発表した。この管理職は貸金庫の管理を担当しており、10月までの4年半にわたって盗みを繰り返し、被害者は60人以上、被害額は時価にして10数億円に上る。本人も窃盗を認めており、すでに懲戒解雇処分となっている。
- 米大リーグで、大谷翔平がナ・リーグのMVPを獲得した。2年連続3度目。指名打者がMVPを獲得するのは史上初。ア・リーグ、ナ・リーグ、両リーグでのMVP獲得は史上2人目。MVPを決める記者投票では、30人中30人が1位票を投じた。
- 26日 ○札幌市中央区、すすきので雑居ビルの2階と3階部分が焼ける火事が発生、40代の男性1人が意識不明の重体、20代から50代の男女3人が大けがをした。意識不明の重体になった40代の男性が、バケツに入れたガソリンのような液体をまいて火をつけたとみられる。男性は、意識を取り戻すことなく12月19日死亡した。
- 28日 ○オーストラリアで、16歳未満のインスタグラムなどのSNS利用を禁止する法案が成立。（YouTubeのみ除外）違反者が出た場合はSNSの運営会社に対して罰金を課す。1年間の猶予期間を経て、2026年度より施行される。SNS利用を完全に禁じる法律は世界初。

12月の出来事

- 2日 ○健康保険証の新規発行を停止し、マイナンバーカードと健康保険証が一体化した「マイナ保険証」を基本とする仕組みに移行する。従来の健康保険証は、来年12月1日まで利用できる。以降はマイナ保険証で統一される見通し。マイナンバーカードを作っていない人やマイナ保険証の利用登録をしていない人などについては、加入している医療保険の保険者から「資格確認書」が送られてくることになる。
- 3日 ○韓国のユン大統領が、3日夜から6時間ほど大統領権限による非常戒厳（緊急事態）を宣言。韓国で非常戒厳が宣言されたのは軍事政権だった1979年以来45年ぶり。本来は北朝鮮情勢など国家安全保障にかかわる事案に対して宣言されるが、今回は野党に対する牽制として非常戒厳を用いたとあり、野党から大きな反発。野党6党は大統領に対する弾劾訴追案を提出した。
- 5日 ○ユネスコ（国連教育科学文化機関）は、日本酒や焼酎、泡盛といった日本の「伝統的酒造り」を無形文化遺産に決定した。500年以上前に原型が確立した日本の「伝統的酒造り」は、米や麦などを蒸す、こうじを作るなど、伝統的に培われてきた技術が各地の風土に応じて発展し、自然や気候と深く結びつきながら伝承されてきたこと、酒が儀式や祭礼行事などにも使われ、日本文化で不可欠な役割を果たしてきたことが評価された。今回の登録で国内の無形文化遺産は23件となった。
- 7日 ○2019年に火災に見舞われたフランス・パリのノートルダム大聖堂で、5年に及ぶ修復工事を経て、再開を祝う特別礼拝が行われた。再建費用は約7億ユーロ（約1,100億円）で、寄付金で賄われた。再開には当初、数十年かかると予想されていた。
- 11日 ○自民、公明両党と国民民主党は、年収103万円を超えると所得税が課される「103万円の壁」を巡り、国民民主が求める178万円を目指して来年から引き上げること
- で合意した。ガソリン税に上乗せされている暫定税率も国民民主の主張を受け入れ、廃止で一致（実施時期不明）した。各党の幹事長が、国会内で断続的に協議し、合意文書に署名。
- 13日 ○J R北海道は、来年3月15日のダイヤ改定計画を発表した。日本最東端の駅「東根室」など、乗降客が少ない5つの無人駅を廃止する。最東端の駅は、東根室から西に約1キロの根室駅となる。
- 15日 ○11月の兵庫県知事選挙で再選した斎藤知事陣営のSNS運用に関して、知事が兵庫県西宮市のPR会社に対し、インターネットによる選挙運動の対価として報酬を支払った疑いがあるとして、弁護士と大学教授が、公職選挙法違反の疑いで告発状を提出した。知事とPR会社の代表に対する告発状について、神戸地方検察庁と兵庫県警察本部が受理。今後、捜査する見込み。
- 23日 ○ホンダと日産自動車は、基本合意書を締結して経営統合に向けた本格的な協議に入ると発表した。共同出資の持ち株会社を設立し、両社がグループ傘下に入る方向で調整する。両社は2026年8月に持ち株会社の上場を目指しており、経営統合によって効率化を進め、先進技術の開発でも競争力を高める狙いがある。実現すれば、世界3位のグループが誕生する。
- 30日 ○東証の今年最後の取引が行われ、日経平均株価は終値39,894円に。年末の株価としては、35年ぶりの高値更新した。また、終値を昨年末と比較すると6,430円値上がりし、2年連続で前年を上回った。日経平均株価は、今年2月に戦後最高値を更新。今年7月11日に終値ベースで過去最高、今年最高値となる42,224円を記録した。

その先の、道へ。北海道

北海道議会時報
第76巻第4号



編集 北海道議会事務局政策調査課

〒060-0002

札幌市中央区北2条西6丁目

TEL 011-204-5691

E-Mail gikai.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp

発行 令和7年（2025年）3月28日